

メフェントリフルコナゾール（案）

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたこと及び関連企業から「国外で使用する農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく残留基準の設定要請がなされたことから、農薬・動物用医薬品部会（以下「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、本報告では、今般提出された作物残留試験成績に基づき、前回審議からの変更点を取りまとめる。また、今般の基準値設定依頼に当たって、毒性や代謝に関する新たな知見の提出がなく、既存の食品健康影響評価の結果に影響はないと考えられることから、本部会での審議後に内閣総理大臣から食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

1. 概要

- （１）品目名：メフェントリフルコナゾール[Mefentrifluconazole (ISO)]
- （２）分 類（用途）：農薬（殺菌剤）
- （３）化学名、CAS 番号、構造式及び物性：変更なし（添付資料 1 参照）

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の国内及び海外における適用の範囲及び使用方法は、別紙1-1～1-4のとおり。なお、今般の基準値設定依頼に係る新たな適用の範囲及び使用方法は網掛けとしている。

3. 代謝試験

変更なし（添付資料 1 参照）

JMPR「REPORT 2022、Pesticide residues in food」で設定された略称を追記した。

【代謝物略称一覧】

略称	JMPR評価書の略称	化学名
F001	M750F001	1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール
F016	M750F016	2-クロロ-5-{4-[2-ヒドロキシ-1-(1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-イル]-3-(トリフルオロメチル)フェノキシ}フェノール
F022	M750F022	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]プロパン-1, 2-ジオール
F023	M750F023	(9 <i>Z</i> , 11 <i>E</i>)-オクタデカ-9, 11-ジエン酸2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロピル
F024	M750F024	(9 <i>Z</i>)-オクタデカ-9-エン酸2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロピル

【代謝物略称一覧】（つづき）

略称	JMPR評価書の略称	化学名
F025	M750F025	ヘキサデカン酸2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロピル
F029	M750F029	3-(1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)-L-アラニン
F030	M750F030	(1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)酢酸
F031	M750F031	2-ヒドロキシ-3-(1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)プロパン酸
F034	M750F034	L-γ-グルタミル-S-(5-クロロ-6-ヒドロキシ-2-{4-[2-ヒドロキシ-1-(1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-イル]-3-(トリフルオロメチル)フェノキシ}シクロヘキサ-2, 4-ジエン-1-イル) -L-システイニルグリシン
F038	M750F038	(2 <i>R</i>)-2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロパン酸
F041	M750F041	3-クロロ-6-{4-[2-ヒドロキシ-1-(1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-イル]-3-(トリフルオロメチル)フェノキシ}シクロヘキサ-3, 5-ジエン-1, 2-ジオール
F043	M750F043	硫酸水素2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロピル
F064	M750F064	構造未決定の代謝物
F068	M750F068	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-1-(1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-イル ヘキソピラノシドウロン酸
F072	M750F072	硫酸水素2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシ-3-(1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)プロピル

4. 作物残留試験

今回追加のあった分析法については以下のとおり。

（1）分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

- ・メフェントリフルコナゾール
- ・代謝物F001
- ・代謝物F029
- ・代謝物F030

② 分析法の概要

i) メフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F029及び代謝物F030

試料からメタノール・水（4：1）混液で抽出し、メフェントリフルコナゾール、

代謝物F001及び代謝物F029はオクタデシルシリル化シリカゲル (C₁₈) カラムを用いて精製した後、代謝物F030は4級アミン修飾ジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラム又はC₁₈カラムを用いて精製した後、それぞれ液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) で定量する。

定量限界：メフェントリフルコナゾール	0.005 mg/kg
代謝物F001	0.05 mg/kg
代謝物F029	0.05 mg/kg
代謝物F030	0.05 mg/kg

【海外】

① 分析対象物質

- ・メフェントリフルコナゾール
- ・代謝物 F001
- ・代謝物 F029
- ・代謝物 F030
- ・代謝物 F031

② 分析法の概要

i) メフェントリフルコナゾール

試料からメタノール・水 (4 : 1) 混液で抽出し、LC-MS/MSで定量する。

または、試料からメタノール・水・2 mol/L塩酸 (14 : 5 : 1) 混液で抽出する。
0.2 mol/L水酸化ナトリウム溶液で塩基性とした後、シクロヘキサンに転溶し、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

ii) 代謝物F001、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031

試料からメタノール・水 (4 : 1) 混液で抽出する。それぞれのトリアゾール系代謝物の安定同位体標識体を内部標準物質として添加し、C₁₈粉末を加えて固相分散処理、ジクロロメタンに転溶又はC₁₈カラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・微分型イオン移動度・タンデム型質量分析計 (LC-DMS-MS/MS) で定量する。

定量限界：代謝物F001	0.01 mg/kg
代謝物F029	0.01 mg/kg
代謝物F030	0.01 mg/kg
代謝物F031	0.01 mg/kg

(2) 作物残留試験結果

国内作物残留試験については、トマト、きゅうり及びいちご等の試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2-1に示す。

海外作物残留試験については、ホップ及びオリーブの試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2-2及び2-3に示す。

5. 畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料中の残留濃度及び動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

変更なし（添付資料1 参照）

② 分析法の概要

変更なし（添付資料1 参照）

(2) 家畜残留試験（動物飼養試験）

① 乳牛を用いた残留試験

乳牛（体重502～770 kg、3頭/群）に対して、飼料中濃度として7.5、50及び150 ppmに相当する量のメフェントリフルコナゾールを含むカプセルを28日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるメフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F022、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の濃度を測定した。乳については、投与開始日から投与期間中毎日採取した乳に含まれる上記化合物の濃度を測定した。表1にメフェントリフルコナゾール、代謝物F022及びメフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計値を示した。その他に検出された主な代謝物は代謝物F001及び代謝物F029であり、代謝物F001は筋肉及び肝臓において、代謝物F029は筋肉において、それぞれメフェントリフルコナゾールと同程度の残留が認められた。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度 (mg/kg)

		7.5 ppm 投与群	50 ppm 投与群	150 ppm 投与群
筋肉	メフェントリフルコナゾール	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.11(最大) 0.07(平均)	0.22(最大) 0.16(平均)
	代謝物F022	— —	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)
	メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。） と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.12(最大) 0.08(平均)	0.24(最大) 0.18(平均)
脂肪	メフェントリフルコナゾール	0.08(最大) 0.05(平均)	0.90(最大) 0.65(平均)	2.29(最大) 1.71(平均)
	代謝物F022	0.01(最大) <0.01(平均)	0.10(最大) 0.09(平均)	0.24(最大) 0.18(平均)
	メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。） と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計	0.09(最大) 0.06(平均)	1.00(最大) 0.75(平均)	2.52(最大) 1.85(平均)
肝臓	メフェントリフルコナゾール	0.18(最大) 0.15(平均)	1.40(最大) 0.99(平均)	3.58(最大) 3.03(平均)
	代謝物F022	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.05(最大) 0.04(平均)
	メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。） と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計 ^{注1)}	0.20(最大) 0.17(平均)	1.51(最大) 1.08(平均)	3.85(最大) 3.26(平均)
腎臓	メフェントリフルコナゾール	0.07(最大) 0.05(平均)	0.51(最大) 0.29(平均)	1.88(最大) 1.29(平均)
	代謝物F022	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.05(最大) 0.05(平均)
	メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。） と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計 ^{注1)}	0.13(最大) 0.09(平均)	0.95(最大) 0.60(平均)	3.34(最大) 2.37(平均)
注3) 乳	メフェントリフルコナゾール	<0.01(平均)	0.06(平均)	0.20(平均)
	代謝物F022	—	0.01(平均)	0.02(平均)
	メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。） と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計 ^{注1) 注2)}	<0.01(平均)	0.14(平均)	0.39(平均)

定量限界：0.01 mg/kg

—：分析せず

乳の代謝物F022の残留濃度は21日目のみ測定されている。

F022の分析値は、換算係数1.15を用いてメフェントリフルコナゾール濃度に換算した値として示した。

注1) JMPR「REPORT 2022、Pesticide residues in food」に従い、メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む）及びF022（抱合体を含む）の合計濃度を下記の式により計算した。

肝臓：メフェントリフルコナゾール残留濃度×1.1+F022残留濃度×1.15

腎臓：メフエントリフルコナゾール残留濃度×1.6+F022残留濃度×5.6×1.15

乳：メフエントリフルコナゾール残留濃度+F022残留濃度×7.45×1.15

注2) JMPR「REPORT 2022、Pesticide residues in food」に従い、分析を行っていない場合は値を0として計算した。

注3) 投与期間中に採取した乳中の濃度を1頭ずつ別々に算出し、その平均値を求めた。

上記の結果に関連して、JMPRは、乳牛及び肉牛の最大飼料由来負荷^{注1)}をそれぞれ67及び60 ppm、平均的飼料由来負荷^{注2)}をそれぞれ28及び22 ppmと評価している。また、米国では乳牛及び肉牛の最大理論的飼料由来負荷^{注3)}を59.82及び12.04 ppmと評価している。

注1) 最大飼料由来負荷 (Maximum dietary burden)：飼料の原料に農薬が最大まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注2) 平均的飼料由来負荷 (Mean dietary burden)：飼料の原料に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に（作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる）、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる平均濃度。飼料中濃度として表示される。

注3) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum theoretical dietary burden)：飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

② 産卵鶏を用いた残留試験

産卵鶏（体重1.5～2.1 kg、12羽/群）に対して飼料中濃度として1.7、5.1及び17.3 ppmに相当する量のメフエントリフルコナゾールを含むカプセルを33日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪及び肝臓に含まれるメフエントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F022、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の濃度を測定した。鶏卵については、投与期間中毎日採卵した卵に含まれる上記化合物の濃度を測定した。表2にメフエントリフルコナゾール、代謝物F022及びメフエントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計値を示した。その他に検出された主な代謝物は代謝物F001及び代謝物F029であった。このうち、代謝物F001は筋肉においてメフエントリフルコナゾール残留量の最大5倍程度の残留が認められた。その他には、代謝物F001が肝臓において、代謝物F029が筋肉において、それぞれメフエントリフルコナゾールと同程度の残留が認められた。

表2. 産卵鶏の試料中の残留濃度 (mg/kg)

		1.7 ppm 投与群	5.1 ppm 投与群	17.3 ppm 投与群
筋肉	メフエントリフルコナゾール	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.03(最大) 0.02(平均)
	代謝物F022	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.04(最大) 0.04(平均)
	メフエントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計 ^{注)}	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.07(最大) 0.05(平均)
脂肪	メフエントリフルコナゾール	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.03(最大) 0.02(平均)	0.25(最大) 0.17(平均)
	代謝物F022	0.05(最大) 0.04(平均)	0.08(最大) 0.08(平均)	0.41(最大) 0.36(平均)
	メフエントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計 ^{注)}	0.06(最大) 0.05(平均)	0.11(最大) 0.10(平均)	0.66(最大) 0.53(平均)
肝臓	メフエントリフルコナゾール	0.02(最大) 0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.20(最大) 0.10(平均)
	代謝物F022	0.02(最大) 0.02(平均)	0.04(最大) 0.03(平均)	0.23(最大) 0.17(平均)
	メフエントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計 ^{注)}	0.10(最大) 0.07(平均)	0.13(最大) 0.10(平均)	1.13(最大) 0.61(平均)
卵	メフエントリフルコナゾール	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.04(最大) 0.03(平均)
	代謝物F022	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.11(最大) 0.08(平均)
	メフエントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計 ^{注)}	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.03(最大) 0.03(平均)	0.12(最大) 0.11(平均)

定量限界：0.01 mg/kg

F022の分析値は、換算係数1.15を用いてメフエントリフルコナゾール濃度に換算した値として示した。

注) JMPR「REPORT 2022、Pesticide residues in food」に従い、メフエントリフルコナゾール（抱合体を含む）及びF022（抱合体を含む）の合計濃度を下記の式により計算した。

$$\text{メフエントリフルコナゾール残留濃度} \times 4.5 + \text{F022残留濃度} \times 1.15$$

上記の結果に関連して、JMPRは、肉用鶏及び産卵鶏の最大飼料由来負荷をそれぞれ0.92及び12 ppm、平均的飼料由来負荷をそれぞれ0.92及び5 ppmと評価している。

(3) 推定残留濃度

牛について、最大及び平均的飼料由来負荷並びに家畜残留試験結果から、畜産物中の

推定残留濃度を算出した。JMPR の飼料由来負荷を用いた推定残留濃度結果は表3-1、米国の飼料由来負荷を用いた推定残留濃度結果は表3-2を参照。最大残留濃度は、メフェントリフルコナゾールの推定濃度で示し、平均的な残留濃度は、メフェントリフルコナゾール及びその抱合体並びに代謝物 F022及びその抱合体をメフェントリフルコナゾールに換算した濃度の合計を示した。

表3-1. 畜産物中の推定残留濃度（JMPR）：牛(mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
牛	0.129 (0.044)	1.136 (0.393)	1.771 (0.609)	0.743 (0.336)	0.084 (0.073)

上段：最大残留濃度 下段括弧内：平均的な残留濃度＊

＊：平均的な残留濃度はメフェントリフルコナゾール及びその抱合体並びに代謝物 F022及びその抱合体を含む。

表3-2. 畜産物中の推定残留濃度（米国）：牛(mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
牛	0.121 (0.090)	1.036 (0.858)	1.614 (1.294)	0.645 (0.774)	0.074 (0.165)

上段：最大残留濃度 下段括弧内：平均的な残留濃度＊

＊：平均的な残留濃度はメフェントリフルコナゾール及びその抱合体並びに代謝物 F022及びその抱合体を含む。

鶏について、最大及び平均的飼料由来負荷並びに家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。結果は表3-3を参照。最大残留濃度は、メフェントリフルコナゾールの推定濃度を示し、平均的な残留濃度は、メフェントリフルコナゾール及びその抱合体、並びに代謝物 F022及びその抱合体をメフェントリフルコナゾールに換算した濃度の合計で示した。

表3-3. 畜産物中の推定残留濃度：鶏(mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	卵
鶏	0.021 (0.010)	0.154 (0.099)	0.122 (0.099)	0.027 (0.027)

上段：最大残留濃度 下段括弧内：平均的な残留濃度＊

＊：平均的な残留濃度はメフェントリフルコナゾール及びその抱合体並びに代謝物 F022及びその抱合体を含む。

6. 許容一日摂取量（ADI）及び急性参照用量（ARfD）の評価

先の審議の際に、食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたメフェントリフルコナゾールに係る食品健康影響評価において、メフェントリフルコナゾールのADIを0.035 mg/kg体重/日、ARfDは設定の必要なしと評価している。

7. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2021年にADI及びARfDが設定されている。国際基準は、2023年及び2024年にレタス、小麦等に基準値が設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてさとうきび、たまねぎ等に、カナダにおいて大麦、りんご等に、EUにおいて小麦、ライ麦等に、豪州においてじゃがいも、ぶどう等に、ニュージーランドにおいて小麦、ぶどう等に基準値が設定されている。

8. 残留規制

(1) 残留の規制対象：変更なし

メフェントリフルコナゾールとする。

作物残留試験においては、メフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の分析が行われており、多くの作物においてメフェントリフルコナゾール及び代謝物F029が主として検出されているが、代謝物F029はトリアゾール系農薬の共通代謝物であることから、農産物中の規制対象はメフェントリフルコナゾールのみとする。

家畜残留試験においてメフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F022及び代謝物F029が主として検出されているが、代謝物F001及び代謝物F029はトリアゾール系農薬の共通代謝物であり特異的な代謝物でないこと、また、代謝物F022は鶏の一部組織でメフェントリフルコナゾールよりも多く検出されているものの、分析の指標として親化合物のみで十分と考えられることから、畜産物中の規制対象はメフェントリフルコナゾールのみとする。

(2) 基準値案

別紙3のとおりである。

9. 暴露評価

(1) 暴露評価対象

農産物にあってはメフェントリフルコナゾールとし、はちみつを除く畜産物にあってはメフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。）及び代謝物F022（抱合体を含む。）とする。

農産物の作物残留試験においては、メフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の分析が行われており、多くの作物においてメフェントリフルコナゾール及び代謝物F029が主として検出されているが、食品安全委員会の評価において、代謝物F029の毒性はメフェントリフルコナゾールに比べ弱いことから、農産物中の暴露評価対象はメフェントリフルコナゾールのみとする。

泌乳山羊の代謝試験において筋肉および脂肪組織では、大部分が親化合物であるメフェントリフルコナゾールであり、肝臓、腎臓、及び乳において、メフェントリフルコナゾール及びその抱合体並びに代謝物F022及びその抱合体であった。代謝物F001及び代謝物F029が検出されたが、代謝物F001及び代謝物F029はトリアゾール系農薬の共通代謝物であることから暴露評価対象に含めないこととする。そのほかに少量の代謝物F016が肝臓のみで検出された。鶏を用いた代謝試験において、主要代謝物は代謝物F022の抱合体（F023、F024及びF025）及びメフェントリフルコナゾールの抱合体F034であったことから、はちみつを除く畜産物にあってはメフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。）及び代謝物F022（抱合体を含む。）とする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をメフェントリフルコナゾール（親化合物のみ）、畜産物中の暴露評価対象物質をメフェントリフルコナゾール及び代謝物F022（抱合体を含む。）としている。

（２）暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙4参照。

	EDI／ADI (%) 注)
国民全体（1 歳以上）	22.4
幼小児（1～6 歳）	48.0
妊婦	22.3
高齢者（65 歳以上）	25.2

注）各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

メフェントリフルコナゾールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年7月29日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	メフェントリフルコナゾールを含む農薬の総使用回数
トマト	34.9% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ミニトマト	34.9% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
なす	34.9% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ピーマン及びとうがらし類	34.9% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
きゅうり	34.9% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
すいか	34.9% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
メロン	34.9% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
りんご	34.9% SC	散布	8000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
なし	34.9% SC	散布	8000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
もも	34.9% SC	散布	8000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
ネクタリン	34.9% SC	散布	8000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
うめ	34.9% SC	散布	8000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機による散布	200倍		10 L/10 a		
おうとう	34.9% SC	散布	8000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
いちご	34.9% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ぶどう	34.9% SC	散布	8000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内

SC：フロアブル

今回基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。

メフェントリフルコナゾールの適用の範囲及び使用方法（米国）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たりの使用量	使用回数	栽培期間中の 総使用量
小粒穀物類 (大麦、オーツ麦、 ライ麦、ライ小麦、 小麦) Small Grains (barley, oats, rye, triticale, wheat)	40% WP	畝間散布	収穫21日前 まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では 年2回以 内	292 g ai/ha
		茎葉散布	収穫21日前 まで	73～146 g ai/ha		292 g ai/ha
	10% EC	畝間散布	収穫21日前 まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では 年2回以 内	292 g ai/ha
		茎葉散布	収穫21日前 まで	73～146 g ai/ha		292 g ai/ha
ソルガム 及び きび類 Sorghum and Millet	40% WP	畝間散布	収穫21日前 まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では 年2回以 内	292 g ai/ha
		茎葉散布	収穫21日前 まで	73～146 g ai/ha		292 g ai/ha
		茎葉散布	収穫21日前 まで	102～146 g ai/ha		292 g ai/ha
	10% EC	畝間散布	収穫21日前 まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では 年2回以 内	292 g ai/ha
		茎葉散布	収穫21日前 まで	73～146 g ai/ha		292 g ai/ha
		茎葉散布	収穫21日前 まで	102～146 g ai/ha		292 g ai/ha
豆類 (大豆及び えだまめを除く) Legume Vegetables (crop group 6) (except soybean and edamame)	40% WP	畝間散布	収穫21日前 まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では 年3回以 内	438 g ai/ha
		茎葉散布	収穫21日前 まで	73～146 g ai/ha		438 g ai/ha
	10% EC	畝間散布	収穫21日前 まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では 年3回以 内	438 g ai/ha
		茎葉散布	収穫21日前 まで	73～146 g ai/ha		438 g ai/ha
いも類 Tuberous and Corm Vegetables (including potato - subgroup 1C)	40% WP	畝間散布	収穫7日前 まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では 年3回以 内	438 g ai/ha
		茎葉散布	収穫7日前 まで	73～146 g ai/ha		438 g ai/ha
	10% EC	畝間散布	収穫7日前 まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では 年3回以 内	438 g ai/ha
		茎葉散布	収穫7日前 まで	73～146 g ai/ha		438 g ai/ha

メフェントリフルコナゾールの適用の範囲及び使用方法（米国）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たりの使用量	使用回数	栽培期間中の 総使用量
てんさい Sugar Beet	40% WP	畝間散布	収穫7日前 まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では 年2回以 内	292 g ai/ha
		茎葉散布	収穫7日前 まで	73～146 g ai/ha		292 g ai/ha
	10% EC	畝間散布	収穫7日前 まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では 年2回以 内	292 g ai/ha
		茎葉散布	収穫7日前 まで	73～146 g ai/ha		292 g ai/ha
根菜類 Root Vegetables (except sugar beet) (Subgroup 1B)	40% WP	茎葉散布	収穫7日前 まで	88～146 g ai/ha	146 g ai/ha では 年3回以 内	438 g ai/ha
		茎葉散布	収穫7日前 まで	117～146 g ai/ha		438 g ai/ha
葉菜類 Leafy Vegetables (Group 4-16)	40% WP	茎葉散布	収穫当日 まで	88～146 g ai/ha	146 g ai/ha では 年3回以 内	438 g ai/ha
		茎葉散布	収穫当日 まで	117～146 g ai/ha		438 g ai/ha
果菜類 Fruiting Vegetables (crop group 8-10)	40% WP	茎葉散布	収穫当日 まで	88～146 g ai/ha	146 g ai/ha では 年3回以 内	438 g ai/ha
		茎葉散布	収穫当日 まで	117～146 g ai/ha		438 g ai/ha
ベリー類 Berries (Subgroup 13-07A and 13-07B)	40% WP	茎葉散布	収穫当日まで	88～146 g ai/ha	146 g ai/ha では 年3回以 内	438 g ai/ha
		茎葉散布	収穫当日まで	117～146 g ai/ha		438 g ai/ha

WP：水和剤

EC：乳剤

ai：active ingredient（有効成分）

メフエントリフルコナゾールの適用の範囲及び使用方法（エクアドル）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たりの使用量	使用回数	栽培期間中の 総使用量
バナナ	40% WP	茎葉散布	収穫当日まで	140 g ai/ha	4回まで 推奨	560 g ai/ha 推奨

WP：水和剤

ai：active ingredient（有効成分）

メフェントリフルコナゾールの適用の範囲及び使用方法 (EU)

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たりの使用量	使用回数	栽培期間中の 総使用量
オリーブ	7.5% SC	散布	収穫21日前まで	150 g ai/ha	2回まで	300 g ai/ha
ホップ	7.5% SC	散布	収穫14日前まで	150 g ai/ha	2回まで	300 g ai/ha

SC : フロアブル

ai : active ingredient (有効成分)

今回基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
トマト (果実)	1	34.9% SC	4000倍散布 278 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.328/<0.05/<0.05/<0.05	◎
ミニトマト (果実)	6	34.9% SC	4000倍散布 240~300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.338/<0.05/<0.05/<0.05	
						圃場B: 0.238/<0.05/*0.06/<0.05 (*3回, 7日)	
						圃場C: 0.232/<0.05/<0.05/<0.05	
						圃場D: 0.554/<0.05/<0.05/<0.05	
						圃場E: 0.550/<0.05/<0.05/<0.05	
						圃場F: 0.218/<0.05/<0.05/<0.05	
ピーマン (果実)	3	34.9% SC	4000倍散布 181~222 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.394/<0.05/<0.05/<0.05 圃場B: 0.897/<0.05/<0.05/<0.05 圃場C: 0.480/<0.05/*0.25/<0.05 (*3回, 3日)	◎
なす (果実)	6	34.9% SC	4000倍散布 169~296 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.083/<0.05/*0.06/<0.05 (*3回, 7日)	
						圃場B: 0.187/<0.05/<0.05/<0.05	
						圃場C: 0.185/<0.05/<0.05/<0.05	
						圃場D: 0.214/<0.05/<0.05/<0.05	
						圃場E: 0.195/<0.05/<0.05/<0.05	
						圃場F: 0.094/<0.05/0.06/<0.05	
ししとう (種およびへたを含む)	2	34.9% SC	4000倍散布 181~243 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 1.32/<0.05/<0.05/<0.05 圃場B: 1.85/<0.05/<0.05/<0.05	◎
甘長とうがらし (へたを含む)	3	34.9% SC	4000倍散布 200~292 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 1.06/<0.05/<0.05/<0.05 圃場B: 1.28/<0.05/0.17/<0.05 圃場C: 1.04/<0.05/0.16/<0.05	
きゅうり (果実)	6	34.9% SC	4000倍散布 200~280 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.078/<0.05/*0.07/<0.05 (*3回, 3日) 圃場B: 0.112/<0.05/0.13/<0.05 圃場C: 0.210/<0.05/*0.08/<0.05 (*3回, 3日) 圃場D: 0.050/<0.05/<0.05/<0.05 圃場E: 0.083/<0.05/<0.05/<0.05 圃場F: 0.115/<0.05/*0.16/<0.05 (*3回, 7日)	◎
						圃場A: <0.005/<0.05/*0.05/<0.05 (*3回, 3日) 圃場B: <0.005/<0.05/<0.05/<0.05 圃場C: <0.005/<0.05/*0.07/<0.05 (*3回, 7日) 圃場D: <0.005/<0.05/<0.05/<0.05 圃場E: <0.005/<0.05/<0.05/<0.05 圃場F: <0.005/<0.05/0.05/<0.05 圃場G: 0.006/<0.05/*0.12/<0.05 (*3回, 14日)	
すいか (果肉)	7	34.9% SC	4000倍散布 191~280 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.058/<0.05/<0.05/<0.05 圃場B: 0.150/<0.05/<0.05/<0.05 圃場C: *0.057/<0.05/*0.05/<0.05 (*3回, 3日 *3回, 7日) 圃場D: *0.124/<0.05/<0.05/<0.05 (*3回, 7日) 圃場E: *0.136/<0.05/<0.05/<0.05 (*3回, 3日) 圃場F: 0.085/<0.05/0.06/<0.05 圃場G: 0.110/<0.05/*0.16/<0.05 (*3回, 7日)	
メロン (果肉)	3	34.9% SC	4000倍散布 221~294 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: <0.005/<0.05/<0.05/<0.05 圃場B: <0.005/<0.05/<0.05/<0.05 圃場C: <0.005/<0.05/0.08/<0.05	
メロン (果実)	3	34.9% SC	4000倍散布 221~294 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.112/<0.05/<0.05/<0.05 圃場B: 0.270/<0.05/<0.05/<0.05 圃場C: 0.345/<0.05/0.06/<0.05	◎
りんご (果実)	6	7.5% SC	1500倍散布 429, 450 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A: 0.182/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 圃場B: 0.372/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 圃場C: 0.246/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 圃場D: 0.244/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 圃場E: 0.098/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 圃場F: 0.188/<0.05/<0.05/<0.05 (#)	
日本なし (果実)	6	7.5% SC	1500倍散布 438~480 L/10 a 1500倍散布 407, 433 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A: 0.078/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 圃場B: *0.106/<0.05/<0.05/<0.05 (*3回, 21日) (#) 圃場C: *0.176/<0.05/<0.05/<0.05 (*3回, 28日) (#) 圃場D: 0.188/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 圃場E: 0.163/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 圃場F: 0.200/<0.05/<0.05/<0.05 (#)	

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
もも (果肉)	4	7.5% SC	1500倍散布 400～469 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：*0.020/<0.05/<0.05/<0.05(*3回, 3日) (#) 圃場B：0.009/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 圃場C：0.011/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 圃場D：*0.014/<0.05/<0.05/<0.05(*3回, 7日) (#)	
もも (果皮)	4	7.5% SC	1500倍散布 400～469 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：2.04/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 圃場B：*1.07/<0.05/<0.05/<0.05(*3回, 3日) (#) 圃場C：2.62/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 圃場D：*1.24/<0.05/<0.05/<0.05(*3回, 3日) (#)	
もも (果実)	4	7.5% SC	1500倍散布 400～469 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：0.358/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 注2) 圃場B：*0.160/<0.05/<0.05/<0.05 注2)(*3回, 3日) (#) 圃場C：0.346/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 注2) 圃場D：0.241/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 注2)	
ネクタリン (果実)	2	7.5% SC	1500倍散布 350, 400 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.203/<0.05/<0.05/0.06 (#) 圃場B：0.280/<0.05/<0.05/<0.05 (#)	
うめ (果実)	3	7.5% SC	1500倍散布 300～400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A：0.765/<0.05/*0.09/<0.05(*3回, 3日) (#) 圃場B：0.558/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 圃場C：0.324/<0.05/0.10/<0.05 (#)	
おうとう (果実)	2	7.5% SC	1500倍散布 350, 367 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：0.692/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 圃場B：*0.832/<0.05/0.42/<0.05(*3回, 3日) (#)	
いちご (果実)	3	34.9% SC	4000倍散布 179～182 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：*1.17/<0.05/<0.05/<0.05 (*3回, 3日) 圃場B：0.762/<0.05/<0.05/<0.05 圃場C：1.21/<0.05/0.06/<0.05	◎
小粒ぶどう (果実)	4	7.5% SC	1500倍散布 325, 363 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A：*1.50/<0.05/<0.05/<0.05 (*3回, 3日) (#) 圃場B：0.802/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 圃場C：0.574/<0.05/<0.05/<0.05 (#) 圃場D：1.24/<0.05/<0.05/<0.05 (#)	◎
大粒ぶどう (果実)			1500倍散布 353, 357 L/10 a				

SC : フロアブル

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

(#) 印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。なお、剤型は異なるものの、使用量及び使用回数は適用の範囲内で行われている。

基準値の設定根拠及び暴露評価に使用されているものを◎で示した。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

注2) 果肉、果皮及び種子の重量比から果実の残留濃度を算出した。

代謝物F001、代謝物F029及び代謝物F030の残留濃度は、メフェントリフルコナゾール当量換算を行っていない値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件にアンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について () 内に記載した。

- 18 -

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】	設定の根拠等
		剤型	使用量使用方法	回数	経過日数		
ラディッシュ (根部)	7	10% EC	0.438～0.457 kg ai/ha散布	3	7	圃場A:0.034/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)	◎
						圃場B:0.03/<0.01/0.021/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場C:0.13/<0.01/0.074/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場D:0.082/<0.01/0.016/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場E:0.38/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)	
ラディッシュ (葉部)	7	10% EC	0.438～0.457 kg ai/ha散布	3	7	圃場F:0.11/<0.01/0.018/<0.01/<0.01 (#)	◎
						圃場G:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場A:3.3/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場B:8.0/<0.01/0.018/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場C:4.9/<0.01/0.022/<0.01/0.012 (#)	
かぶ (葉部)	5	10% EC	0.451～0.457 kg ai/ha散布	3	7	圃場D:1.1/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)	◎
						圃場E:5.1/<0.01/0.012/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場F:3.2/<0.01/0.024/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場G:0.37/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場A:3.2/<0.01/0.043/<0.01/<0.01 (#)	
マスタードグリーン (莖葉部)	4	40% WP	0.437～0.455 kg ai/ha散布	3	7	圃場B:7.0/<0.01/0.054/<0.01/0.023 (#)	◎
						圃場C:7.2/<0.01/0.015/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場D:5.6/<0.01/0.038/<0.01/0.028 (#)	
						圃場E:10/<0.01/*0.087/<0.01/*0.028(*3回, 14日) (#)	
						圃場A:12/<0.01/0.080/<0.01/0.014	
非結球レタス (莖葉部)	8	40% WP	0.447～0.466 kg ai/ha散布	3	7	圃場B:5.0/<0.01/0.068/<0.01/<0.01	◎
						圃場C:4.1/<0.01/0.14/<0.01/<0.01	
						圃場D:8.2/<0.01/0.054/<0.01/0.011	
						圃場A:3.0/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場B:6.4/<0.01/<0.01/<0.01/0.014	
にんじん (根部)	11	10% EC	0.451～0.465 kg ai/ha散布	3	7	圃場C:4.4/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	◎
						圃場D:4.2/<0.01/<0.01/<0.01/0.013	
						圃場E:2.4/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場F:2.2/<0.01/<0.01/<0.01/0.028	
						圃場G:7.2/<0.01/<0.01/<0.01/0.026	
チェリートマト (果実)	3	10% EC	0.417～0.446 kg ai/ha散布	3	7	圃場H:2.6/<0.01/<0.01/<0.01/0.015	◎
						圃場A:0.16/<0.01/0.076/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場B:0.22/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場C:0.14/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場D:0.12/<0.01/0.018/<0.01/<0.01 (#)	
トマト (果実)	16	10% EC	443～0.468 kg ai/ha散布	3	7	圃場E:0.098/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)	◎
						圃場F:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場G:<0.01/<0.01/0.016/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場H:0.11/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場I:0.059/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
トマト (果実)	16	10% EC	443～0.468 kg ai/ha散布	3	7	圃場J:0.052/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	◎
						圃場K:*0.24/<0.01/*0.022/<0.01/<0.01 (*3回, 14日) (#)	
						圃場A:0.360/<0.01/0.0374/<0.01/0.0421 (#)	
						圃場B:0.125/<0.01/0.0102/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場C:0.405/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
トマト (果実)	16	10% EC	443～0.468 kg ai/ha散布	3	7	圃場D:0.145/<0.01/0.0195/<0.01/<0.01 (#)	◎
						圃場E:0.142/<0.01/0.0314/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場F:0.145/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場G:0.248/<0.01/0.0180/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場H:0.0255/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
トマト (果実)	16	10% EC	443～0.468 kg ai/ha散布	3	7	圃場I:0.0500/<0.01/0.0276/<0.01/<0.01 (#)	◎
						圃場J:0.190/<0.01/0.0182/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場K:0.110/<0.01/0.0208/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場L:0.0950/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場M:0.078/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
トマト (果実)	16	10% EC	443～0.468 kg ai/ha散布	3	7	圃場N:0.0470/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	◎
						圃場O:0.042/<0.01/0.0116/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場P:0.171/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場Q:0.0850/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場R:0.370/<0.01/0.0141/<0.01/<0.01 (#)	
トマト (果実)	16	10% EC	443～0.468 kg ai/ha散布	3	7	圃場S:0.228/<0.01/*0.0140/<0.01/<0.01 (*3回, 7日) (#)	◎
						圃場A:0.145/<0.01/0.0195/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場B:0.142/<0.01/0.0314/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場C:0.145/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場D:0.248/<0.01/0.0180/<0.01/<0.01 (#)	

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^{注1)} 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】	設定の根拠等
		剤型	使用量使用方法	回数	経過日数		
ピーマン (果実)	9	10% EC	0.445～0.454 kg ai/ha散布	3	0 0, 3, 5, 7, 10	圃場A:0.202/<0.01/0.0436/<0.01/<0.01 (#) 圃場B:0.049/<0.01/0.0435/<0.01/<0.01 (#) 圃場C:0.062/<0.01/0.0383/<0.01/<0.01 (#) 圃場D:0.044/<0.01/0.0120/<0.01/<0.01 (#) 圃場E:0.222/<0.01/0.0764/<0.01/<0.01 (#) 圃場F:0.428/<0.01/0.0136/<0.01/<0.01 (#) 圃場G:0.297/<0.01/0.0340/<0.01/<0.01 (#) 圃場H:0.729/<0.01/0.0968/<0.01/<0.01 (#) 圃場I:0.064/<0.01/*0.0561/<0.01/<0.01 (*3回, 10日) (#)	◎
とうがらし (果実)	3	10% EC	0.445～0.446 kg ai/ha散布	3	0 0, 3, 5, 7, 10	圃場A:0.265/<0.01/0.120/<0.01/0.0199 (#) 圃場B:0.602/<0.01/0.0392/<0.01/<0.01 (#) 圃場C:*0.238/<0.01/**0.0712/<0.01/*0.0131 (*3回, 3日、**3回, 10日) (#)	◎
ほうれんそう (茎葉部)	8	40% WP	0.449～0.458 kg ai/ha散布	3	0 0, 3, 5, 6, 9	圃場A:12/<0.01/0.012/<0.01/0.013 圃場B:5.2/<0.01/0.030/<0.01/0.019 圃場C:17/<0.01/0.016/<0.01/<0.01 圃場D:12/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場E:3.8/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:4.6/<0.01/0.018/<0.01/0.023 圃場G:4.8/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場H:11/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	◎
未成熟えんどう (さや付き)	9	10% EC	0.444～0.459 kg ai/ha散布	3	21 7, 14, 21, 28	圃場A:<0.01/<0.01/0.84/<0.01/<0.01 圃場B:<0.01/<0.01/0.38/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.01/0.49/<0.01/<0.01 圃場D:0.03/<0.01/0.61/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.33/<0.01/<0.01 圃場F:<0.01/<0.01/0.29/<0.01/<0.01 圃場G:0.03/<0.01/0.15/<0.01/<0.01 圃場H:0.02/<0.01/0.61/<0.01/<0.01 圃場I:0.08/<0.01/0.11/<0.01/<0.01	◎
未成熟えんどう (さやなし)	9	10% EC	0.444～0.459 kg ai/ha散布	3	21 7, 14, 21, 28	圃場A:<0.01/<0.01/0.93/<0.01/0.02 圃場B:<0.01/<0.01/0.58/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.01/1.34/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/0.78/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.37/<0.01/<0.01 圃場F:<0.01/<0.01/0.71/<0.01/<0.01 圃場G:<0.01/<0.01/0.88/<0.01/<0.01 圃場H:<0.01/<0.01/0.13/<0.01/<0.01 圃場I:<0.01/<0.01/*0.29/<0.01*0.01 (*2回, 28日)	◎
未成熟いんげん (さや付き)	6	10% EC	0.449～0.467 kg ai/ha散布	3	21 7, 14, 21, 28	圃場A:<0.01/<0.01/0.08/<0.01/<0.01 圃場B:<0.01/<0.01/0.20/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場F:*0.03/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 (*3回, 28日)	◎
未成熟いんげん (さやなし)	6	10% EC	0.445～0.456 kg ai/ha散布	3	21 7, 14, 21, 28	圃場A:<0.01/<0.01/0.51/<0.01/<0.01 圃場B:<0.01/<0.01/0.29/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/0.06/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.12/<0.01/<0.01 圃場F:<0.01/<0.01/1.33/*<0.01/*0.04 (*3回, 28日)	◎
ブルーベリー (果実)	9	40% WP	0.437～0.464 kg ai/ha散布	3	0 0, 1, 3, 7, 10	圃場A:0.58/<0.01/<0.01/<0.01/0.01 圃場B:0.76/<0.01/<0.01/<0.01/0.01 圃場C:0.68/<0.01/0.02/<0.01/0.08 圃場D:0.51/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場E:0.06/<0.01/<0.01/<0.01/0.01 圃場F:0.18/<0.01/<0.01/<0.01/0.03 圃場G:0.56/<0.01/<0.01/<0.01/0.01 圃場H:3.16/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場I:0.74/<0.01/<0.01/<0.01/*0.02 (*3回, 7日)	◎

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】	設定の根拠等
		剤型	使用量使用方法	回数	経過日数		
バナナ ^{注2)} (果肉、袋なし)	10	40% WP	0.700 kg ai/ha散布	5	0, 1, 3, 7	圃場A:*0.65/<0.01/*0.024/<0.01/*0.027 (*5回, 1日、**5回, 7日) (#)	◎
						圃場B:0.74/<0.01/*0.038/<0.01/*0.017 (*5回, 7日) (#)	
						圃場C:*0.54/<0.01/0.013/<0.01/<0.01 (*5回, 7日) (#)	
						圃場D:*0.57/<0.01/*0.027/<0.01/0.018 (*5回, 3日、**5回, 7日) (#)	
						圃場E:*0.24/<0.01/*0.015/<0.01/*0.015 (*5回, 1日、**5回, 3日) (#)	
					0	圃場F:0.47/<0.01/0.018/<0.01/0.012 (#)	
						圃場G:0.026/<0.01/0.018/<0.01/0.01 (#)	
						圃場H:0.35/<0.01/0.030/<0.01/0.029 (#)	
						圃場I:0.16/<0.01/0.012/<0.01/0.017 (#)	
						圃場J:0.12/<0.01/0.021/<0.01/0.028 (#)	

EC：乳剤

WP：水和剤

(#) 印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。なお、剤型は異なるものの、使用量及び使用回数は適用の範囲内で行われている。

基準値の設定根拠及び暴露評価に使用されているものを◎で示した。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

注2) バナナの作物残留試験は、エクアドルの登録剤を用いてブラジル、エクアドル及びコロンビアで実施されている。

代謝物F001、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の残留濃度は、メフェントリフルコナゾール当量換算を行っていない値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件にアンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表 (EU)

農作物	試験 圃場 数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^(注) 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
オリーブ (果実)	8	7.5% SC	0.149～0.159 kg ai/ha 散布	2	0, 14, 22, 28	圃場A:*0.200/<0.01/0.44/<0.01/<0.01(*2回, 28日)	◎
					0, 14, 21, 28	圃場B:*0.380/<0.01/0.36/<0.01/0.011(*2回, 28日)	
					0, 14, 21, 28	圃場C:1.200/<0.01/*0.64/<0.01/<0.01(*2回, 28日)	
					0, 14, 21, 28	圃場D:*0.230/<0.01/0.30/<0.01/<0.01(*2回, 28日)	
					0, 14, 21, 27	圃場E:1.400/<0.01/*0.63/<0.01/<0.01(*2回, 27日)	
					0, 14, 21, 27	圃場F:0.330/<0.01/*0.65/<0.01/<0.01(*2回, 27日)	
					0, 13, 21, 28	圃場G:*0.600/<0.01/0.16/<0.01/<0.01(*2回, 28日)	
					0, 14, 21, 28	圃場H:0.320/<0.01/*0.28/<0.01/<0.01(*2回, 28日)	
ホップ (毬花)	4	7.5% SC	0.14～0.16 kg ai/ha 散布	2	13	圃場A:*3.200/<0.01/*0.27/<0.01/*0.17(*2回, 13日)	◎
					13	圃場B:*4.300/*0.16/*0.092/<0.01/*0.14(*2回, 13日)	
					15	圃場C:*5.000/<0.01/*0.75/*0.016/*0.31(*2回, 15日)	
					13	圃場D:*4.700/*0.015/*0.43/<0.01/*0.18(*2回, 13日)	

SC：フロアブル

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価に使用されているものを◎で示した。

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物F001、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の残留濃度は、メフェントリフルコナゾール当量換算を行っていない値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件にアンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	2			1.5		
小麦	0.4	0.3		0.4		
大麦	4	4		3	4 米国	【<0.01～1.67(n=10)(米国大 麦)、<0.01～1.17(n=9)(米国ソ ルガム)】 【大麦参照】
ライ麦	4	4		0.4	4 米国	
とうもろこし	0.04	0.03		0.04		
そば	4	4			4 米国	【大麦参照】
その他の穀類	4	4		3	4 米国	【大麦参照】
大豆	0.4	0.4		0.4		
小豆類	2	2		1.5		
えんどう	0.2	0.2		0.15		
そら豆	0.2	0.2		0.07	0.15 米国	【<0.01～0.05(n=22)(米国いん げん類)、<0.01～0.09(n=26) (米国えんどう類)】
らっかせい	0.01	0.01		0.01		
その他の豆類	0.2	0.2		0.15		
ばれいしょ	0.05	0.04		0.05		
さといも類(やつがしらを含む。)	0.05	0.04		0.05		
かんしょ	0.05	0.04		0.05		
やまいも(長いもをいう。)	0.05	0.04		0.05		
こんにやくいも	0.05			0.05		
その他のいも類	0.05	0.04		0.05		
てんさい	0.6	0.6			0.6 米国	【0.02～0.58(n=13)(米国)】
さとうきび	2	2		1.5		
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.7	0.7		0.5	0.7 米国	【<0.01～0.24(#)(n=11)(米国に んじん)、<0.01～0.38(#)(n=7) (米国ラディッシュ(根))】
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	20	20			20 米国	【0.37～8.0(#)(n=7)(米国ラ ディッシュ(葉))、3.2～ 10(#)(n=5)(米国かぶ(葉))】
かぶ類の根	0.7	0.7		0.5	0.7 米国	【だいこん類(ラディッシュを含 む。)の根参照】
かぶ類の葉	20	20			20 米国	【だいこん類(ラディッシュを含 む。)の葉参照】
西洋わさび	0.7	0.7		0.5	0.7 米国	【だいこん類(ラディッシュを含 む。)の根参照】
クレソン	30	30			30 米国	【2.2～7.2(n=8)(米国非結球レ タス)、3.8～17(n=8)(米国ほう れんそう)、4.1～12(n=4)(米国 マスタードグリーン)】 【クレソン参照】
その他のあぶらな科野菜	30	30		0.5	30 米国	
ごぼう	0.7	0.7		0.5	0.7 米国	【だいこん類(ラディッシュを含 む。)の根参照】
サルシフィー	0.7	0.7		0.5	0.7 米国	【だいこん類(ラディッシュを含 む。)の根参照】
チコリ	20	20			20 米国	【だいこん類(ラディッシュを含 む。)の葉参照】
エンダイブ	30	30			30 米国	【クレソン参照】
しゅんぎく	30	30			30 米国	【クレソン参照】
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	30	30		5	30 米国	【クレソン参照】
その他のきく科野菜	30	30		0.5	30 米国	【クレソン参照】

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
たまねぎ ねぎ(リーキを含む。) にんにく にら わけぎ その他のゆり科野菜	0.2 4 0.2 4 4 4	0.2 4 0.2 4 4 4		0.2 4 0.2 4 4 4		
にんじん パースニップ パセリ その他のせり科野菜	0.7 0.7 30 30	0.7 0.7 30 30		0.5 0.5 30 0.5	0.7 0.7 30 30	米国 米国 米国 米国
トマト ピーマン なす その他のなす科野菜	1 2 2 4	0.9 0.9 0.9 0.9	申 申 ○ 申	0.7 1.5 1.5 1.5		0.218~0.554(n=6)(ミニトマト)、 0.328(トマト) 0.394,0.480,0.897 1.32,1.85(ししとう)、 1.04,1.06,1.28(甘長とうがらし)
きゅうり(ガーキンを含む。) かぼちゃ(スカッシュを含む。) しろうり すいか(果皮を含む。) メロン類果実(果皮を含む。) まくわうり(果皮を含む。) その他のうり科野菜	0.4 0.5 0.5 0.5 0.8 0.5 0.5	0.2 0.2 0.5 0.5 0.5 0.5 0.2	申 ○ 申	0.15 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5		0.050~0.210(n=6) 0.112,0.270,0.345
ほうれんそう オクラ しょうが 未成熟えんどう 未成熟いんげん えだまめ	30 0.9 0.04 0.2 0.2 0.2	30 0.9 0.04 0.2 0.2 0.2			30 0.9 0.04 0.15 0.05 0.05	米国 米国 米国 米国 米国
その他の野菜	30	30		0.05	30	米国
みかん(外果皮を含む。) なつみかんの果実全体 レモン オレンジ(ネーブルオレンジを含む。) グレープフルーツ ライム その他のかんきつ類果実	2 0.5 2 1 0.5 2 2	0.6 0.5 1 0.6 0.5 1 1		1.5 0.5 1.5 1 0.5 1.5 1.5		
りんご 日本なし 西洋なし マルメロ びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	2 2 2 2 2	2 2 2 2 2	○ ○ ○	1.5 1.5 1.5 1.5 1.5		

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
もも(果皮及び種子を含む。)	2	2	○	2		
ネクタリン	2	2	○	2		
あんず(アブリコットを含む。)	2	2		2		
すもも(プルーンを含む。)	2	2		1.5		
うめ	2	2	○	2		
おうとう(チェリーを含む。)	5	4	○	5		
いちご	4	2	申	2		0.762,1.17,1.21
ラズベリー	3	3		3		
ブラックベリー	3	3		3		
ブルーベリー	5	5		5		
クランベリー	5	5		2	5 米国	【0.06～3.16(n=9)(米国ブルーベリー)】
ハuckleベリー	5	5		5		
その他のベリー類果実	5	5		5		
ぶどう	3	3	○	2		0.574,1.24(＃)(大粒ぶどう) 0.802,1.5(＃)(小粒ぶどう)
バナナ	2	2			1.5 米国	【0.026～0.74(n=10)(＃)(袋なし)(ブラジル、コロンビア、エクアドル)】
パパイア	0.5			0.5		
アボカド	1			1		
マンゴー	0.6			0.6		
パッションフルーツ		2				
その他の果実	3	2	IT	1.5	3 EU	【0.20～1.40(n=8)(EUオリーブ)】
ひまわりの種子	0.2	0.2		0.15		
ごまの種子	1	1		1		
べにばなの種子	0.2	0.2		0.15		
綿実	0.2	0.2		0.2		
なたね	1	1		1		
その他のオイルシード	1	1		1		
ぎんなん	0.06			0.06		
くり	0.06	0.06		0.06		
ペカン	0.06	0.06		0.06		
アーモンド	0.06	0.06		0.06		
くるみ	0.06	0.06		0.06		
その他のナッツ類	0.06	0.06		0.06		
コーヒー豆	0.4	0.4		0.4		
ホップ	15		IT		15 EU	【3.2～5.0(n=4)(EU)】
その他のスパイス	5	1		5		
その他のハーブ	30	30		4	30 米国	【クレソン参照】
牛の筋肉	0.2	0.2		0.15 §		※1
豚の筋肉	0.2	0.01		0.15 §		※1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.2	0.2		0.15 §		※1

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
牛の脂肪	2	1		1.5 §		※1
豚の脂肪	2	0.02		1.5 §		※1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	2	1		1.5 §		※1
牛の肝臓	2	2		2 §		※1
豚の肝臓	2	0.03		2 §		※1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	2	2		2 §		※1
牛の腎臓	2	2		2 §	1.5 米国	【推:1.614(米国牛の肝臓)】
豚の腎臓	1	0.03		2 §		※1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	2	2		2 §		【牛の腎臓参照】
牛の食用部分	2	2		2 §		※1
豚の食用部分	2	0.03		2 §		※1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	2	2		2 §		※1
乳	0.2	0.2		0.1 §	0.15 米国	【推:0.074(米国)】
鶏の筋肉	0.03	0.02		0.03 §		※1
その他の家きんの筋肉	0.03	0.02		0.03 §		※1
鶏の脂肪	0.2	0.02		0.2 §		※1
その他の家きんの脂肪	0.2	0.02		0.2 §		※1
鶏の肝臓	0.2	0.02		0.7 §		※1
その他の家きんの肝臓	0.2	0.02		0.7 §		※1
鶏の腎臓	0.2	0.02		0.7 §		※1
その他の家きんの腎臓	0.2	0.02		0.7 §		※1
鶏の食用部分	0.2	0.02		0.7 §		※1
その他の家きんの食用部分	0.2	0.02		0.7 §		※1
鶏の卵	0.04	0.01		0.04 §		※1
その他の家きんの卵	0.04	0.01		0.04 §		※1
はちみつ	0.05	0.05				※2
トマト(乾燥させたもの)				7		※3
とうがらし(乾燥させたもの)				15		※3
すもも(乾燥させたもの)				7		※3

太枠:本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

斜線:食品区分を別途新設すること等に伴い、削除した食品区分、もしくは加工食品につき基準値を設定しないもの

○:既に、国内において登録等がされているもの

申:農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

IT:海外で設定されている基準値を参照するようインポートレランス申請されたもの

(#):適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

推:推定される残留濃度

§:規制対象はメフェントリフルコナゾールとその抱合体を含む

※1)国内及び米国の規制対象は畜産物にあってはメフェントリフルコナゾール(遊離体)とされているのに対し、国際基準の規制対象はメフェントリフルコナゾール(抱合体を含む。)とされている。これらを踏まえ、国際基準を参照する食品については、JMPRの評価書(2022年)より換算係数を引用し、国際基準の値に換算係数を除いてそれぞれの基準値を算出した。各換算係数は以下のとおり。

牛については筋肉、脂肪及び乳が1、肝臓が1.1、腎臓が1.6並びに鶏及びその他の家きんについては筋肉、脂肪及び卵が1、肝臓が4.5。なお、豚及びその他の陸棲哺乳類に属する動物の換算係数は牛の換算係数を用いた。

※2)「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

※3)加工食品である「トマト(乾燥させたもの)」、「とうがらし(乾燥させたもの)」及び「すもも(乾燥させたもの)」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。なお、本物質について、JMPRはトマト(乾燥させたもの)、とうがらし(乾燥させたもの)及びすもも(乾燥させたもの)の加工係数を9.17、10及び4.1と算出している。

メフェントリフルコナゾールの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
米 (玄米をいう。)	2	0.11	18.1	9.4	11.6	19.8
小麦	0.4	0.09	5.4	4.0	6.2	4.5
大麦	4	0.37	2.0	1.6	3.3	1.6
ライ麦	4	0.37	0.0	0.0	0.2	0.0
とうもろこし	0.04	0.01	0.0	0.1	0.1	0.0
そば	4	0.37	0.4	0.2	0.7	0.4
その他の穀類	4	0.37	0.1	0.0	0.0	0.1
大豆	0.4	0.01	0.4	0.2	0.3	0.5
小豆類	2	0.22	0.5	0.2	0.2	0.9
えんどう	0.2	0.015	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
らっかせい	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	0.2	0.015	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.05	0.01	0.4	0.3	0.4	0.4
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.1
かんしょ	0.05	0.01	0.1	0.1	0.1	0.1
やまいも (長いもをいう。)	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
こんにゃくいも	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のいも類	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.6	0.08	2.6	2.2	3.3	2.7
さとうきび	2	0.37	36.3	30.9	45.9	37.1
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の根	0.7	0.104	3.4	1.2	2.1	4.8
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の葉	20	5	8.5	3.0	15.5	14.0
かぶ類の根	0.7	0.104	0.3	0.1	0.0	0.5
かぶ類の葉	20	5	1.5	0.5	0.5	3.0
西洋わさび	0.7	0.104	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	30	4.9	0.5	0.5	0.5	0.5
その他のあぶらな科野菜	30	4.9	16.7	2.9	3.9	23.5
ごぼう	0.7	0.104	0.4	0.2	0.4	0.5
サルシフィー	0.7	0.104	0.0	0.0	0.0	0.0
チコリ	20	5	0.5	0.5	0.5	0.5
エンダイブ	30	4.9	0.5	0.5	0.5	0.5
しゅんぎく	30	4.9	7.4	1.5	12.7	12.3
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	30	4.9	47.0	21.6	55.9	45.1
その他のきく科野菜	30	4.9	7.4	0.5	2.9	12.7
たまねぎ	0.2	0.05	1.6	1.1	1.8	1.4
ねぎ (リーキを含む。)	4	0.39	3.7	1.4	2.7	4.2
にんにく	0.2	0.05	0.0	0.0	0.1	0.0
にら	4	0.39	0.8	0.4	0.7	0.8
わけぎ	4	0.39	0.1	0.0	0.0	0.1
その他のゆり科野菜	4	0.39	0.2	0.0	0.1	0.5
にんじん	0.7	0.104	2.0	1.5	2.3	1.9
パースニップ	0.7	0.104	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	30	4.9	0.5	0.5	0.5	1.0
その他のせり科野菜	30	4.9	1.0	0.5	1.5	1.5
トマト	1	0.328	10.5	6.2	10.5	12.0
ピーマン	2	0.48	2.3	1.1	3.6	2.4
なす	2	0.25	3.0	0.5	2.5	4.3
その他のなす科野菜	4	1.28	1.4	0.1	1.5	1.5
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.4	0.098	2.0	0.9	1.4	2.5
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.5	0.15	1.4	0.6	1.2	2.0
しろうり	0.5	0.15	0.1	0.0	0.0	0.1
すいか (果皮を含む。)	0.5	0.15	1.1	0.8	2.2	1.7
メロン類果実 (果皮を含む。)	0.8	0.27	0.9	0.7	1.2	1.1
まくわうり (果皮を含む。)	0.5	0.15	0.0	0.0	0.0	0.1
その他のうり科野菜	0.5	0.15	0.4	0.2	0.1	0.5

メフェントリフルコナゾールの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
ほうれんそう	30	4.9	62.7	28.9	69.6	85.3
オクラ	0.9	0.145	0.2	0.2	0.2	0.2
しょうが	0.04	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟えんどう	0.2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟いんげん	0.2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
えだまめ	0.2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の野菜	30	4.9	65.7	30.9	49.5	69.1
みかん (外果皮を含む。)	2	0.37	6.6	6.1	0.2	9.7
なつみかんの果実全体	0.5	0.16	0.2	0.1	0.8	0.3
レモン	2	0.37	0.2	0.0	0.1	0.2
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	1	0.215	1.5	3.1	2.7	0.9
グレープフルーツ	0.5	0.16	0.7	0.4	1.4	0.6
ライム	2	0.37	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のかんきつ類果実	2	0.37	2.2	1.0	0.9	3.5
りんご	2	0.39	9.4	12.1	7.3	12.6
日本なし	2	0.39	2.5	1.3	3.5	3.0
西洋なし	2	0.39	0.2	0.1	0.0	0.2
マルメロ	2	0.39	0.0	0.0	0.0	0.0
びわ (果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	2	0.39	0.2	0.1	0.7	0.2
もも (果皮及び種子を含む。)	2	0.56	1.9	2.1	3.0	2.5
ネクタリン	2	0.56	0.1	0.1	0.1	0.1
あんず (アブリコットを含む。)	2	0.56	0.1	0.1	0.1	0.2
すもも (ブルーを含む。)	2	0.26	0.3	0.2	0.2	0.3
うめ	2	0.56	0.8	0.2	0.3	1.0
おうとう (チェリーを含む。)	5	1.1	0.4	0.8	0.1	0.3
いちご	4	1.17	6.3	9.1	6.1	6.9
ラズベリー	3	0.96	0.1	0.1	0.1	0.1
ブラックベリー	3	0.96	0.1	0.1	0.1	0.1
ブルーベリー	5	0.58	0.6	0.4	0.3	0.8
クランベリー	5	0.58	0.1	0.1	0.1	0.1
ハuckleベリー	5	0.58	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のベリー類果実	5	0.58	0.1	0.1	0.1	0.1
ぶどう	3	1.021	8.9	8.4	20.6	9.2
バナナ	2	0.41	5.4	6.2	6.7	7.7
パパイヤ	0.5	0.07	0.0	0.0	0.0	0.0
アボカド	1	0.36	0.1	0.0	0.0	0.1
マンゴー	0.6	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	3	0.355	0.4	0.1	0.3	0.6
ひまわりの種子	0.2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ごまの種子	1	0.06	0.1	0.1	0.1	0.0
べにばなの種子	0.2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
綿実	0.2	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	1	0.06	0.4	0.2	0.3	0.3
その他のオイルシード	1	0.06	0.0	0.0	0.0	0.0
ぎんなん	0.06	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.06	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.06	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.06	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.06	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.06	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
コーヒード	0.4	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ホップ	15	4.5	0.5	0.5	0.5	0.5
その他のスパイス	5	0.58	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のハーブ	30	4.9	4.4	1.5	0.5	6.9

メフエントリフルコナゾールの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
陸棲哺乳類の肉類	2	筋肉 0.04 脂肪 0.39	6.3	4.7	7.1	4.5
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	2	1.294	1.8	1.0	6.2	1.2
陸棲哺乳類の乳類	0.2	0.165	43.6	54.8	60.2	35.6
家さんの肉類	0.2	0.124	2.7	1.9	2.8	2.0
家さんの卵類	0.04	0.032	1.3	1.1	1.5	1.2
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			432.8	277.1	456.2	494.1
ADI比 (%)			22.4	48.0	22.3	25.2

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算を行った。

「陸棲哺乳類の肉類」については、EDI試算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

(参考)

これまでの経緯

平成31年	3月	1日	インポートトレランス申請（小麦、大麦等）
令和元年	5月	22日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和2年	1月	14日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和2年	4月	3日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和2年	11月	16日	残留基準告示
令和3年	5月	25日	薬事・食品衛生審議会へ諮問（基本原則の一部改訂に伴う残留基準設定）
令和3年	6月	16日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和3年	6月	22日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和3年	7月	7日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和3年	12月	17日	残留基準告示
令和4年	4月	27日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（新規：ぶどう、りんご等）
令和4年	5月	24日	インポートトレランス申請（さとうきび、たまねぎ等）
令和4年	8月	24日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和4年	10月	26日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和5年	2月	10日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和5年	10月	18日	残留基準告示
令和7年	6月	30日	農林水産省から消費者庁へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：トマト、きゅうり等）
令和8年	6月	8日	インポートトレランス申請（その他の果実、ホップ）
令和8年	9月	3日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和8年	9月	16日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	国立医薬品食品衛生研究所薬品部長
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部本部長
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
◎堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所（薬学系兼任）教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

メフェントリフルコナゾールについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

メフェントリフルコナゾール

今回残留基準を設定する「メフェントリフルコナゾール」の規制対象は、メフェントリフルコナゾールとする。

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	2
小麦	0.4
大麦	4
ライ麦	4
とうもろこし	0.04
そば	4
その他の穀類 ^{注1)}	4
大豆	0.4
小豆類 ^{注2)}	2
えんどう	0.2
そら豆	0.2
らっかせい	0.01
その他の豆類 ^{注3)}	0.2
ばれいしょ	0.05
さといも類（やつがしらを含む。）	0.05
かんしょ	0.05
やまいも（長いものをいう。）	0.05
こんにゃくいも	0.05
その他のいも類 ^{注4)}	0.05
てんさい	0.6
さとうきび	2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.7
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	20
かぶ類の根	0.7
かぶ類の葉	20
西洋わさび	0.7
クレソン	30

食品名	残留基準値 ppm
その他のあぶらな科野菜 ^{注5)}	30
ごぼう	0.7
サルシフィー	0.7
チコリ	20
エンダイブ	30
しゅんぎく	30
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	30
その他のきく科野菜 ^{注6)}	30
たまねぎ	0.2
ねぎ（リーキを含む。）	4
にんにく	0.2
にら	4
わけぎ	4
その他のゆり科野菜 ^{注7)}	4
にんじん	0.7
パースニップ	0.7
パセリ	30
その他のせり科野菜 ^{注8)}	30
トマト	1
ピーマン	2
なす	2
その他のなす科野菜 ^{注9)}	4
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.4
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.5
しろうり	0.5
すいか（果皮を含む。）	0.5
メロン類果実（果皮を含む。）	0.8
まくわうり（果皮を含む。）	0.5
その他のうり科野菜 ^{注10)}	0.5
ほうれんそう	30
オクラ	0.9
しょうが	0.04
未成熟えんどう	0.2
未成熟いんげん	0.2

食品名	残留基準値 ppm
えだまめ	0.2
その他の野菜 ^{注1)}	30
みかん（外果皮を含む。）	2
なつみかんの果実全体	0.5
レモン	2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	1
グレープフルーツ	0.5
ライム	2
その他のかんきつ類果実 ^{注12)}	2
りんご	2
日本なし	2
西洋なし	2
マルメロ	2
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	2
もも（果皮及び種子を含む。）	2
ネクタリン	2
あんず（アプリコットを含む。）	2
すもも（プルーンを含む。）	2
うめ	2
おうとう（チェリーを含む。）	5
いちご	4
ラズベリー	3
ブラックベリー	3
ブルーベリー	5
クランベリー	5
ハックルベリー	5
その他のベリー類果実 ^{注13)}	5
ぶどう	3
バナナ	2
パパイア	0.5
アボカド	1
マンゴー	0.6
その他の果実 ^{注14)}	3
ひまわりの種子	0.2
ごまの種子	1

食品名	残留基準値 ppm
べにばなの種子	0.2
綿実	0.2
なたね	1
その他のオイルシード ^{注15)}	1
ぎんなん	0.06
くり	0.06
ペカン	0.06
アーモンド	0.06
くるみ	0.06
その他のナッツ類 ^{注16)}	0.06
コーヒー豆	0.4
ホップ	15
その他のスパイス ^{注17)}	5
その他のハーブ ^{注18)}	30
牛の筋肉	0.2
豚の筋肉	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注19)} の筋肉	0.2
牛の脂肪	2
豚の脂肪	2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	2
牛の肝臓	2
豚の肝臓	2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	2
牛の腎臓	2
豚の腎臓	1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	2
牛の食用部分 ^{注20)}	2
豚の食用部分	2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	2
乳	0.2
鶏の筋肉	0.03
その他の家きん ^{注21)} の筋肉	0.03
鶏の脂肪	0.2

食品名	残留基準値 ppm
その他の家きんの脂肪	0.2
鶏の肝臓	0.2
その他の家きんの肝臓	0.2
鶏の腎臓	0.2
その他の家きんの腎臓	0.2
鶏の食用部分	0.2
その他の家きんの食用部分	0.2
鶏の卵	0.04
その他の家きんの卵	0.04
はちみつ	0.05

注1) 「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3) 「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4) 「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）及びこんにゃくいも以外のものをいう。

注5) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注6) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注7) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注8) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注10) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注11) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注12) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注13) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注14) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アブリコットを含む。）、すもも（ブルーベリーを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注15) 「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。

注16) 「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注17) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注18) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注19) 「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注20) 「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注21) 「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

メフエントリフルコナゾール

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく新規の農薬登録申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたこと及び関連企業から「国外で使用する農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく残留基準の設定要請がなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：メフエントリフルコナゾール[Mefentrifluconazole (ISO)]

(2) 分 類：農薬

(3) 用 途：殺菌剤

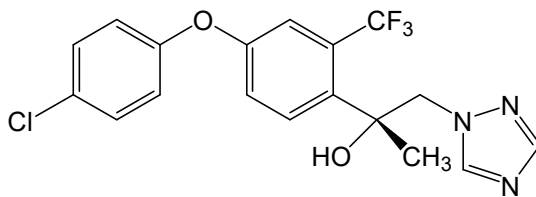
トリアゾール系の殺菌剤である。病原菌の細胞膜のステロール生合成阻害剤の一種で、ステロール生合成におけるC14位の脱メチル化を阻害してエルゴステロールの生合成を阻止させることによって、殺菌作用を示すと考えられている。

(4) 化学名及びCAS番号

(2*RS*)-2-[4-(4-Chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]-1-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propan-2-ol (IUPAC)

1*H*-1,2,4-Triazole-1-ethanol, α -[4-(4-chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]- α -methyl- (CAS : No. 1417782-03-6)

(5) 構造式及び物性



(ラセミ体、*R*体：*S*体=1：1)

分 子 式 $C_{18}H_{15}ClF_3N_3O_2$

分 子 量 397.78

水溶解度 6.6×10^{-4} g/L (20°C, pH 4)

7.1×10^{-4} g/L (20°C, pH 7)

分配係数 $\log_{10}Pow = 3.4$ (pH 4緩衝液)

3.4 (pH 9緩衝液)

3.3 (pH 7緩衝液)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

(1) 国内での使用方法

① 40.0%メフェントリフルコナゾール水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	メフェントリフルコナゾール を含む農薬の 総使用回数
りんご	モニリア病 黒星病 赤星病 斑点落葉病 褐斑病 黒点病	8000倍	200～700 L/10 a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内
なし	うどんこ病 赤星病 黒星病 黒斑病			収穫前日 まで	2回以内		
もも	灰星病 黒星病						
ネクタリン							
おうとう	灰星病						
うめ	黒星病						
ぶどう	灰色かび病 黒とう病						

(2) 海外での使用方法

さとうきび、たまねぎ等に係る残留基準の設定について今回インポートトレランス申請がなされており、作物名となっているものは、今回の申請にかかる作物を示している。

① 40.0%(W/V)メフェントリフルコナゾール水和剤（米国）

作物名	適用	1回当たりの 使用量	使用方法	使用時 期	総使用量	使用回 数
豆類 (大豆及び えだまめを除 く)	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot*, Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫21 日前 まで	437 g ai/ha	146 g ai/ha では年3 回以内
	Alternaria leaf and pod spot Ascochyta blight Asian soybean rust Cercospora leaf spot Mycosphaerella blight Powdery mildew Rust	78～146 g ai/ha	茎葉散布			
かんきつ類	Alternaria brown spot Anthracnose Blackspot Greasy spot Melanose Postbloom fruit drop Scab	112～146 g ai/ha		収穫当 日まで		
とうもろこし	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫21 日前 まで	291 g ai/ha (スイートコーン は 437 g ai/ha)	146 g ai/ha では年2 回以内 (スイートコー ンは3回 以内)
	Anthrachnose Eyespot Gray leaf spot Northern corn leaf blight Northern corn leaf spot Southern corn leaf blight Tar spot	78～146 g ai/ha	茎葉散布			
	Common rust* Southern rust*	101～146 g ai/ha				

ai: active ingredient (有効成分)

*: 抑制のみ

**: 茎葉散布も併せて3回437 g ai/haまで

① 40.0%(W/V)メフェントリフルコナゾール水和剤（米国）（つづき）

作物名	適用	1回当たりの使用量	使用方法	使用時期	総使用量	使用回数
らっかせい	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫 14日 前 まで	605 g ai/ha	202 g ai/haでは 年3回以内
	Early leaf spot Late leaf spot Rust	78～202 g ai/ha	茎葉散布			
	Rhizoctonia limb rot* Peg rot* Pod rot* Sclerotium rot* Southern blight* Southern stem rot* White mold	146～202 g ai/ha				
いも類	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫 7日 前 まで	437 g ai/ha	146 g ai/haでは 年3回 以内
	Black dot Black pit Brown spot Early blight	90～146 g ai/ha	茎葉散布			
なたね	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫 21日 前 まで	291 g ai/ha	146 g ai/haでは 年2回 以内
	Blackleg Blackspot	78～146 g ai/ha	茎葉散布			
小粒穀物類 (大麦、 オーツ麦、 ライ麦、 ライ小麦、 小麦)	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布			
	Leaf rust Net blotch Septoria leaf blotch Stripe rust	78～146 g ai/ha	茎葉散布			
ソルガム 及びきび類	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布			
	Bipolaris leaf spot Southern leaf blight Cercospora leaf spot Gray leaf spot Northern leaf blight	78～146 g ai/ha	茎葉散布			
	Rust*	101～146 g ai/ha				

① 40.0%(W/V)メフェントリフルコナゾール水和剤（米国）（つづき）

作物名	適用	1回当たりの 使用量	使用方法	使用 時期	総使用 量	使用回数
大豆及び えだまめ	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seeding blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫 21日 前 まで	大豆は 291 g ai/ha えだま めは437 g ai/ha	146 g ai/ha では年2 回以内 (えだま めは3回 以内)
	Alternaria leaf spot Asian soybean rust Brown spot Cercospora blight Frogeye leaf spot Rhizoctonia aerial blight	78～146 g ai/ha	茎葉散布			
てんさい	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫 7日 前 まで	291 g ai/ha	146 g ai/ha では年2 回以内
	Cercospora leaf spot Powdery mildew*	78～146 g ai/ha	茎葉散布			
ぶどう (ワイン用)	Black rot	112 g ai/ha		収穫 14日 前 まで	437 g ai/ha	146 g ai/ha では年3 回以内
	Phomopsis cane and leaf spot Powdery mildew					
仁果類	Alternaria blotch Apple scab Black rot/Frogeye leaf spot Cedar apple rust Flyspeck Marssonina leaf blotch Apple blotch Pear scab Sooty blotch White rot Quince rust*	112～146 g ai/ha		収穫 当日 まで		
	Powdery mildew	146 g ai/ha				
核果類	Blossom blight Brown rot	90～146 g ai/ha				
	Alternaria leaf spot Leaf spot Ripe fruit rot Rust Scab Shothole	112～146 g ai/ha				
	Powdery mildew*	146 g ai/ha				

① 40.0%(W/V)メフェントリフルコナゾール水和剤（米国）（つづき）

作物名	適用	1回当たりの 使用量	使用方法	使用 時期	総使用 量	使用回 数
ナッツ類	Brown rot blossom blight	90～146 g ai/ha	茎葉散布	収穫 14日 前 まで	437 g ai/ha	146 g ai/ha では年3 回以内
	Alternaria leaf spot Anthracnose Eastern filbert blight Leaf rust Panicle and shoot blight Scab Shothole	112～146 g ai/ha				
ベリー類	Monilinia blight and mummy berry	90～146 g ai/ha		収穫 当日 まで		
	Alternaria leaf spot and fruit rot Anthracnose Leaf spot and blotch Phomopsis leaf spot, twig blight and fruit rot Spur blight	112～146 g ai/ha				
鱗茎野菜	Purple blotch and leaf blight	90～146 g ai/ha		収穫 7日 前 まで		
	Powdery mildew	113～146 g ai/ha				
うり科野菜	Gummy stem blight Powdery mildew	90～146 g ai/ha		収穫 当日 まで		
	Alternaria leaf blight Anthracnose	112～146 g ai/ha				
果菜類	Anthracnose Black mold Early blight Powdery mildew	90～146 g ai/ha		収穫 当日 まで		
	Septoria leaf spot	112～146 g ai/ha				

① 40.0%(W/V)メフェントリフルコナゾール水和剤（米国）（つづき）

作物名	適用	1回当たりの 使用量	使用方法	使用 時期	総使用 量	使用回 数
葉菜類	Alternaria leaf spot Powdery mildew	90～146 g ai/ha	茎葉散布	収穫 当日 まで	437 g ai/ha	146 g ai/ha では年3 回以内
	Anthrachnose Ascochyta leaf spot Cercospora leaf spot Septoria leaf spot	112～146 g ai/ha				
根菜類	Alternaria leaf spot Cercospora leaf spot Powdery mildew	90～146 g ai/ha		収穫 7日 前ま で		
	Anthrachnose Ascochyta leaf spot Septoria leaf spot	112～146 g ai/ha				
いちご	Anthrachnose Powdery mildew			収穫 当日 まで		
棉実	Phymatotrichopsis root rot Rhizoctonia seed and seedlng rot Fusarium seed rot, seedling blight*	78～146 g ai/ha	畝間散布	収穫 30日 前ま で		146 g ai/ha では年1 回以内**
オイルシー ド類	Alternaria leaf spot Blackleg Blackspot Cercospora leaf spot Pasmo Septoria leaf spot	90～146 g ai/ha	茎葉散布	収穫 21日 前ま で	291 g ai/ha	146 g ai/ha では年2 回以内
さとうきび	Sugarcane pineapple disease Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot*, Seedling blight*	112～146 g ai/ha	畝間散布	収穫 14日 前ま で		
	Brown rust Orange rust		茎葉散布			

② 10%メフェントリフルコナゾール乳剤（米国）

作物名	適用	1回当たりの 使用量	使用方法	使用 時期	総使用量	使用回 数
豆類 (大豆及び えだまめを 除く)	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	38～146 g ai/ha	畝間散布	収穫 21日 前 まで	437 g ai/ha	146 g ai/ha では年3 回以内
	Alternaria leaf and pod spot Ascochyta blight Asian soybean rust Cercospora leaf spot Mycosphaerella blight Powdery mildew Rust	78～146 g ai/ha	茎葉散布			
かんきつ類	Alternaria brown spot Anthracnose Blackspot Greasy spot Melanose Postbloom fruit drop Scab	67～146 g ai/ha		収穫 当日 まで		
とうもろこ し	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫 21日 前 まで	291 g ai/ha (スイートコーンは 437 g ai/ha)	146 g ai/ha では年2 回以内 (スイートコー ンは3回 以内)
	Anthracnose Eyespot Gray leaf spot Northern corn leaf blight Northern corn leaf spot Southern corn leaf blight Tar spot	67～146 g ai/ha	茎葉散布			
	Common rust* Southern rust*	101～146 g ai/ha				

② 10.0%(W/V)メフェントリフルコナゾール乳剤（米国）（つづき）

作物名	適用	1回当たりの 使用量	使用方法	使用時期	総使用 量	使用回 数
らっかせい	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫14 日前 まで	605 g ai/ha	202 g ai/ha では年3 回以内
	Early leaf spot Late leaf spot Rust	67～202 g ai/ha	茎葉散布			
	Rhizoctonia limb rot* Peg rot* Pod rot* Sclerotium rot* Southern blight* Southern stem rot* White mold	146～202 g ai/ha				
いも類	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫 7日前 まで	437 g ai/ha	146 g ai/ha では年3 回以内
	Black dot Black pit Brown spot Early blight	67～146 g ai/ha	茎葉散布			
なたね	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫21 日前 まで	291 g ai/ha	146 g ai/ha では年2 回以内
	Blackleg Blackspot	67～146 g ai/ha	茎葉散布			
小粒穀物類 (大麦、 オーツ麦、 ライ麦、 ライ小麦、 小麦)	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布			
	Leaf rust Net blotch Septoria leaf blotch Stripe rust	78～146 g ai/ha	茎葉散布			

② 10.0% (W/V) メフェントリフルコナゾール乳剤 (米国) (つづき)

作物名	適用	1回当たりの 使用量	使用方法	使用 時期	総使用 量	使用回数
ソルガム 及びキビ類	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫 21日 前 まで	291 g ai/ha	146 g ai/ha では年2 回以内
	Bipolaris leaf spot Southern leaf blight Cercospora leaf spot Gray leaf spot Northern leaf blight	67～146 g ai/ha	茎葉散布			
	Rust*	101～146 g ai/ha				
大豆	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	大豆は 291 g ai/ha えだま めは437 g ai/ha	146 g ai/ha では年2 回以内 (えだま めは3回 以内)	
	Alternaria leaf spot Asian soybean rust Brown spot Cercospora blight Frogeye leaf spot Rhizoctonia aerial blight	78～146 g ai/ha	茎葉散布			
てんさい	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫 7日 前 まで	291 g ai/ha	146 g ai/ha では年2 回以内
	Cercospora leaf spot Powdery mildew	67～146 g ai/ha	茎葉散布			
棉実	Phymatotrichopsis root rot Rhizoctonia seed and seedlng rot Fusarium seed rot seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫 30日 前ま で	146 g ai/ha	146 g ai/ha では年1 回以内**
オイル シード類	Alternaria leaf spot Blackleg Blackspot Cercospora leaf spot Pasma Septoria leaf spot	67～146 g ai/ha	茎葉散布	収穫 21日 前ま で	291 g ai/ha	146 g ai/ha では年2 回以内

② 10.0%(W/V)メフェントリフルコナゾール乳剤（米国）（つづき）

作物名	適用	1回当たりの 使用量	使用方法	使用時期	総使用 量	使用回数
さとうきび	Sugarcane pineapple disease Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot*, Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫14 日前 まで	291 g ai/ha	146 g ai/ha では年2 回以内
	Brown rust Orange rust	67～146 g ai/ha	茎葉散布			

③ 40%メフェントリフルコナゾール水和剤（エクアドル）

作物名	適用	1回当たりの 使用量	使用方法	使用時期	総使用 量	使用回数
バナナ	Black Sigatoka	140 g ai/ha	茎葉散布	収穫 当日 まで	560 g ai/ha 推奨	4回まで 推奨

④ 20%メフェントリフルコナゾール・20%ピラクロストロビン水和剤（エクアドル、ブラジル）

作物名	適用	1回当たりの 使用量	使用方法	使用時期	総使用 量	使用回数
コーヒー豆	Rust	160 g ai/ha	茎葉散布	収穫45 前日 まで	480 g ai/ha	3回まで

⑤ 13.3%メフェントリフルコナゾール・17.8%ピラクロストロビン水和剤（ブラジル）

作物名	適用	1回当たりの 使用量	使用方法	使用 時期	総使用 量	使用回 数
コーヒー豆	Rust	106.6 g ai/ha	茎葉散布	収穫 45前 日ま で	320 g ai/ha	3回ま で

3. 代謝試験

(1) 植物代謝試験

植物代謝試験が、小麦、大豆及びぶどうで実施されており、可食部で10%TRR^{注)}以上認められた代謝物は、代謝物F029（小麦及び大豆）及び代謝物F030（小麦）であった。

注) %TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

(2) 家畜代謝試験

家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物F001（泌乳山羊の肝臓、腎臓、筋肉、乳汁、乳脂肪及び無脂肪乳並びに産卵鶏の肝臓、腎臓、筋肉、脂肪、卵黄及び卵白）、代謝物F016（泌乳山羊の肝臓）、代謝物F022（泌乳山羊の腎臓、産卵鶏の肝臓、腎臓、筋肉、脂肪及び卵黄）、代謝物F023（産卵鶏の脂肪）、代謝物F024（産卵鶏の脂肪及び卵黄）、代謝物F025（産卵鶏の脂肪）、代謝物F023/代謝物F024/代謝物F025（産卵鶏の卵黄）、代謝物F024/代謝物F025（産卵鶏の筋肉、脂肪及び卵黄）、代謝物F034（産卵鶏の肝臓）、代謝物F038（泌乳山羊の肝臓及び腎臓）、代謝物F041（泌乳山羊の無脂肪乳）、代謝物F043（泌乳山羊の乳汁、乳脂肪及び無脂肪乳）、代謝物F038/代謝物F064（泌乳山羊の腎臓）、代謝物F068（泌乳山羊の腎臓）、代謝物F072（泌乳山羊の無脂肪乳）であった。

【代謝物略称一覧】

略称	JMPR評価書の略称	化学名
F001	—	1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール
F016	—	2-クロロ-5-{4-[2-ヒドロキシ-1-(1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-イル]-3-(トリフルオロメチル)フェノキシ}フェノール
F022	—	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]プロパン-1, 2-ジオール
F023	—	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロピル(9 <i>Z</i> , 11 <i>E</i>)-オクタデカ-9, 11-ジエノアート
F024	—	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロピル(9 <i>Z</i>)-オクタデカ-9-エノアート
F025	—	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロピルヘキサデカノアート

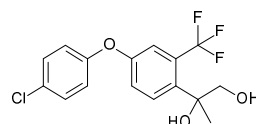
【代謝物略称一覧】（つづき）

略称	JMPR評価書の略称	化学名
F029	—	3-(1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)-L-アラニン
F030	—	(1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)酢酸
F031	—	2-ヒドロキシ-3-(1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)プロピオン酸
F034	—	γ -グルタミル- <i>S</i> -(5-クロロ-6-ヒドロキシ-2-{4-[2-ヒドロキシ-1-(1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-イル]-3-(トリフルオロメチル)フェノキシ}シクロヘキサ-2, 4-ジエン-1-イル)システイニルグリシン
F038	—	(2 <i>R</i>)-2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロパン酸
F041	—	3-クロロ-6-{4-[2-ヒドロキシ-1-(1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-イル]-3-(トリフルオロメチル)フェノキシ}シクロヘキサ-3, 5-ジエン-1, 2-ジオール
F043	—	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロピル硫酸水素
F064	—	構造未決定の代謝物
F068	—	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-1-(1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-イル ヘキソピラノシドウロン酸
F072	—	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシ-3-(1 <i>H</i> -1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)プロピル硫酸水素

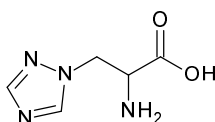
—：JMPR評価書にはない。



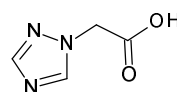
代謝物F001



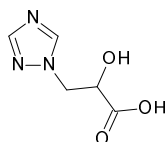
代謝物F022



代謝物F029



代謝物F030



代謝物F031

注）残留試験の分析対象及び暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

- ・メフェントリフルコナゾール
- ・代謝物F001
- ・代謝物F029
- ・代謝物F030

② 分析法の概要

試料からメタノール・水（4：1）混液で抽出し、C₁₈カラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）で定量する。

または、試料からメタノール・水（4：1）混液で抽出し、メフェントリフルコナゾールはC₁₈カラムを用いて精製した後、代謝物F001及び代謝物F029はスルホン酸塩修飾ジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラムを用いて精製した後、代謝物F030は4級アンモニウム塩修飾ジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラムを用いて精製した後、それぞれLC-MS/MSで定量する。

定量限界：メフェントリフルコナゾール	0.005 mg/kg
代謝物F001	0.05 mg/kg
代謝物F029	0.05 mg/kg
代謝物F030	0.05 mg/kg

【海外】

① 分析対象物質

- ・メフェントリフルコナゾール
- ・代謝物F001
- ・代謝物F029
- ・代謝物F030
- ・代謝物F031

② 分析法の概要

i) メフェントリフルコナゾール

試料からメタノール・水（4：1）混液で抽出し、LC-MS/MSで定量する。

または、試料からメタノール・水・2 mol/L塩酸（14：5：1）混液で抽出する。
0.2 mol/L水酸化ナトリウム溶液で塩基性とした後、シクロヘキサンに転溶し、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

ii) 代謝物F001、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031

試料からメタノール・水（4：1）混液で抽出する。それぞれのトリアゾール系代謝物の安定同位体標識体を内部標準物質として添加し、C₁₈粉末を加えて固相分散処理、またはジクロロメタンに転溶、もしくはC₁₈カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：代謝物F001	0.01 mg/kg
代謝物F029	0.01～0.4 mg/kg
代謝物F030	0.01 mg/kg
代謝物F031	0.01 mg/kg

（2）作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-2を参照。

5. 畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与された作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料中の残留農薬濃度及び動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

（1）分析の概要

① 分析対象物質

- ・メフェントリフルコナゾール
- ・代謝物F001
- ・代謝物F022
- ・代謝物F029
- ・代謝物F030
- ・代謝物F031

② 分析法の概要

i) メフェントリフルコナゾール

筋肉、肝臓、腎臓及び卵については、試料からメタノール・水・2 mol/L塩酸（14：5：1）混液で抽出する。0.2 mol/L水酸化ナトリウム溶液で塩基性とした後、シクロヘキサンに転溶し、LC-MS/MSで定量する。

脂肪及び乳については、試料からアセトニトリル・イソヘキサン（5：2）混液で

抽出する。イソヘキサンで洗浄した後、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

ii) 代謝物F022

筋肉、肝臓、腎臓及び卵については、試料からメタノール・水・2 mol/L塩酸（14：5：1）混液で抽出する。0.2 mol/L水酸化ナトリウム溶液で塩基性とした後、筋肉及び肝臓はシクロヘキサンに、腎臓及び卵はジクロロメタンに転溶し、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラムを用いて精製した後、ガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）で定量する。

脂肪及び乳については、試料からアセトニトリル・イソヘキサン（5：2）混液で抽出する。イソヘキサンで洗浄し、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラムを用いて精製した後、GC-MSで定量する。

なお、代謝物F022の分析値は、換算係数1.15を用いてメフェントリフルコナゾール濃度に換算した値として示した。

定量限界：0.01 mg/kg（メフェントリフルコナゾール換算濃度）

iii) 代謝物F001、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031

試料からメタノール・水（4：1）混液で抽出する。オクタデシルシリル化シリカゲル（C₁₈）カラムで精製した後、トリアゾール酢酸、トリアゾールアラニン及びトリアゾール乳酸はそれぞれのトリアゾール系代謝物の安定同位体（トリアゾール環のすべての炭素と窒素をそれぞれ¹³C及び¹⁵Nで標識）を内部標準物質として添加し、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

（2）家畜残留試験（動物飼養試験）

① 乳牛を用いた残留試験

乳牛（体重502～770 kg、3頭/群）に対して、飼料中濃度として1.5、7.5、50及び150 ppmに相当する量のメフェントリフルコナゾールを含むカプセルを28日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるメフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F022、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の濃度を測定した。乳については、投与開始日から投与期間中毎日採取した乳に含まれる上記化合物の濃度を測定した。表1にメフェントリフルコナゾール及び代謝物F022の残留濃度、並びにその合計値を示した。その他に検出された主な代謝物は代謝物F001及び代謝物F029であり、代謝物F001は筋肉及び肝臓において、代謝物F029は筋肉において、それ

ぞれメフェントリフルコナゾールと同程度の残留が認められた。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度 (mg/kg)

		1.5 ppm 投与群	7.5 ppm 投与群	50 ppm 投与群	150 ppm 投与群
筋肉	メフェントリフルコナ ゾール	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.11(最大) 0.07(平均)	0.22(最大) 0.16(平均)
	代謝物F022	— —	— —	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)
	合計 ^{注1)}	<0.02(最大) <0.02(平均)	<0.02(最大) <0.02(平均)	0.12(最大) 0.08(平均)	0.24(最大) 0.18(平均)
脂肪	メフェントリフルコナ ゾール	0.02(最大) 0.02(平均)	0.08(最大) 0.05(平均)	0.90(最大) 0.65(平均)	2.29(最大) 1.71(平均)
	代謝物F022	— —	0.01(最大) <0.01(平均)	0.10(最大) 0.09(平均)	0.24(最大) 0.18(平均)
	合計 ^{注1)}	0.03(最大) 0.03(平均)	0.09(最大) 0.06(平均)	1.00(最大) 0.74(平均)	2.53(最大) 1.89(平均)
肝臓	メフェントリフルコナ ゾール	0.03(最大) 0.03(平均)	0.18(最大) 0.15(平均)	1.40(最大) 0.99(平均)	3.58(最大) 3.03(平均)
	代謝物F022	— —	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.05(最大) 0.04(平均)
	合計 ^{注1)}	0.04(最大) 0.04(平均)	0.19(最大) 0.16(平均)	1.42(最大) 1.01(平均)	3.63(最大) 3.07(平均)
腎臓	メフェントリフルコナ ゾール	0.01(最大) 0.01(平均)	0.07(最大) 0.05(平均)	0.51(最大) 0.29(平均)	1.88(最大) 1.29(平均)
	代謝物F022	— —	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.05(最大) 0.05(平均)
	合計 ^{注1)}	0.02(最大) 0.02(平均)	0.08(最大) 0.06(平均)	0.53(最大) 0.31(平均)	1.93(最大) 1.34(平均)
乳 ^{注2)}	メフェントリフルコナ ゾール	<0.01(平均)	0.01(平均)	0.06(平均)	0.20(平均)
	代謝物F022	—	—	0.01(平均)	0.02(平均)
	合計 ^{注1)}	<0.02	0.02	0.07	0.20

定量限界 : 0.01 mg/kg

—:分析せず

乳の代謝物F022の残留濃度は21日目のみ測定値されている。

注1) 分析を行っていない場合は、定量限界値を用いて合計した。

注2) 投与期間中に採取した乳中の濃度を1頭ずつ別々に算出し、その平均値を求めた。

上記の結果に関連して、米国では乳牛、肉牛及び豚の、最大理論的飼料由来負荷^{注)}を、それぞれ59.82、12.04及び0.93 ppmと評価している。

注) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum theoretical dietary burden) : 飼料の原料に農薬が最大まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中残留濃度として表示される。

② 産卵鶏を用いた残留試験

産卵鶏（体重1.5～2.1 kg、12羽/群）に対して飼料中濃度として0.18、1.7、5.1及び17.3 ppmに相当する量のメフェントリフルコナゾールを含むカプセルを34日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪及び肝臓に含まれるメフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F022、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の濃度を測定した。鶏卵については、投与期間中毎日採卵した卵に含まれる上記化合物の濃度を測定した。表2にメフェントリフルコナゾール及び代謝物F022の残留濃度、並びにその合計値を示した。その他に検出された主な代謝物は代謝物F001及び代謝物F029であった。このうち、代謝物F001は筋肉においてメフェントリフルコナゾール残留量の最大5倍程度の残留が認められた。その他には、代謝物F001が肝臓において、代謝物F029が筋肉において、それぞれメフェントリフルコナゾールと同程度の残留が認められた。

表2. 産卵鶏の試料中の残留濃度 (mg/kg)

		0.18 ppm 投与群	1.7 ppm 投与群	5.1 ppm 投与群	17.3 ppm 投与群
筋 肉	メフェントリフルコナゾール	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.03(最大) 0.02(平均)
	代謝物F022	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.04(最大) 0.04(平均)
	合計	<0.02(最大) <0.02(平均)	<0.02(最大) <0.02(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.07(最大) 0.06(平均)
脂 肪	メフェントリフルコナゾール	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.03(最大) 0.02(平均)	0.25(最大) 0.17(平均)
	代謝物F022	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.05(最大) 0.04(平均)	0.08(最大) 0.08(平均)	0.41(最大) 0.36(平均)
	合計	<0.02(最大) <0.02(平均)	0.06(最大) 0.05(平均)	0.11(最大) 0.10(平均)	0.66(最大) 0.53(平均)

表2. 産卵鶏の試料中の残留濃度 (mg/kg) (つづき)

		0.18 ppm 投与群	1.7 ppm 投与群	5.1 ppm 投与群	17.3 ppm 投与群
肝臓	メフェントリフルコナゾール	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.20(最大) 0.10(平均)
	代謝物F022	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.04(最大) 0.03(平均)	0.23(最大) 0.17(平均)
	合計	0.02(最大) 0.02(平均)	0.04(最大) 0.03(平均)	0.06(最大) 0.05(平均)	0.43(最大) 0.27(平均)
卵	メフェントリフルコナゾール	— —	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.04(最大) 0.03(平均)
	代謝物F022	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.11(最大) 0.08(平均)
	合計 ^{注)}	0.02(最大) 0.02(平均)	<0.02(最大) <0.02(平均)	0.03(最大) 0.03(平均)	0.15(最大) 0.11(平均)

定量限界：0.01 mg/kg

—：分析せず

注) 分析を行っていない場合は、定量限界値を用いて合計した。

上記の結果に関連して、米国では家きんの最大理論的飼料由来負荷¹⁾を0.9 ppmと評価している。

(3) 推定残留濃度

牛、豚及び家きんについて、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。結果は表3を参照。最大残留濃度は、メフェントリフルコナゾールの推定濃度を示し、平均的な残留濃度は、メフェントリフルコナゾール及び代謝物F022をメフェントリフルコナゾールに換算した濃度の合計濃度で示した。

表3. 畜産物中の推定残留濃度：牛、豚及び家きん (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳	卵
乳牛	0.121 (0.090)	1.036 (0.853)	1.614 (1.212)	0.644 (0.411)	0.074 (0.085)	
豚	0.006 (0.012)	0.012 (0.019)	0.019 (0.025)	0.006 (0.012)		
産卵鶏	0.010 (0.020)	0.010 (0.034)	0.015 (0.025)	—		0.010 (0.020)

上段：最大残留濃度※ 下段括弧内：平均的な残留濃度***

※：最大残留濃度は、メフェントリフルコナゾールを含む。

※※：平均的な残留濃度は、メフェントリフルコナゾール及び代謝物F022を含む。

－：分析せず

豚については、牛の家畜残留試験の結果を豚の最大理論的飼料由来負荷にて算出した。

乳は最大理論的飼料由来負荷のみを用いて計算した。

6. ADI及びARfDの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたメフェントリフルコナゾールに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

（1）ADI

無毒性量：3.5 mg/kg 体重/day（発がん性は認められなかった。）

（動物種） 雄マウス

（投与方法） 混餌

（試験の種類） 発がん性試験

（期間） 18か月間

安全係数：100

ADI：0.035 mg/kg 体重/day

（2）ARfD 設定の必要なし

メフェントリフルコナゾールの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量又は最小毒性量のうち最小値は、ラットを用いた急性神経毒性試験における無毒性量600 mg/kg 体重/日であり、カットオフ値(500 mg/kg 体重)以上であったことから、急性参照用量（ARfD）設定は必要ないと判断した。

7. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2021年にADI及びARfDが設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてさとうきび、たまねぎ等に、EUにおいて小麦、ライ麦等に、豪州においてりんご、ぶどう等に基準値が設定されている。

8. 基準値案

（1）残留の規制対象

メフェントリフルコナゾールとする。

農産物の作物残留試験においては、メフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代

代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の分析が行われており、多くの作物においてメフエントリフルコナゾール及び代謝物F029が主として検出されているが、代謝物F029はトリアゾール系農薬の共通代謝物であることから、農産物中の規制対象はメフエントリフルコナゾールのみとする。動物飼養試験においてメフエントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F022及び代謝物F029が主として検出されているが、代謝物F001及び代謝物F029はトリアゾール系農薬の共通代謝物であり特異的な代謝物でないこと、代謝物F022については、推定残留量が一部臓器を除き定量限界に近いことから畜産物中の規制対象はメフエントリフルコナゾールのみとする。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

9. 暴露評価

(1) 暴露評価対象

農産物にあつてはメフエントリフルコナゾールとし、畜産物中にあつてはメフエントリフルコナゾール及び代謝物F022とする。

農産物の作物残留試験においては、メフエントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の分析が行われており、多くの作物においてメフエントリフルコナゾール及び代謝物F029が主として検出されているが、代謝物F029はフェントリフルコナゾールと比較して毒性が低いことから、農産物中の暴露評価対象はメフエントリフルコナゾールのみとする。畜産物の飼養試験において、メフエントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F022及び代謝物F029が主として検出されているが、代謝物F001及び代謝物F029はトリアゾール系農薬の共通代謝物であることから暴露評価対象に含めないこととする。代謝物F022については、鶏の一部組織においてメフエントリフルコナゾールより高い濃度で認められたため、畜産物中の暴露評価対象はメフエントリフルコナゾール及び代謝物F022とする。代謝物F022の抱合体については、脂肪組織において、F022脂肪酸抱合体がF022より高濃度で検出されたものの、その他の臓器ではF022と比較して微量であることから暴露評価対象に含めないものとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をメフエントリフルコナゾール（親化合物のみ）、畜産物中の暴露評価対象物質をメフエントリフルコナゾール及び代謝物F022（抱合体を含む）としている。

(2) 暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI／ADI (%) ^{注)}
国民全体（1歳以上）	24.1
幼小児（1～6歳）	46.3
妊婦	23.7
高齢者（65歳以上）	27.4

注）各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^{注1)} 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
りんご (果実)	6	7.5% フロアブル	1500倍散布 450 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A : 0.182/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
			1500倍散布 429 L/10 a			圃場B : 0.372/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場C : 0.246/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場D : 0.244/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場E : 0.098/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場F : 0.188/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場A : 0.078/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場B : *0.106/<0.05/<0.05/<0.05 (*3回, 21日) (＃)
						圃場C : *0.176/<0.05/<0.05/<0.05 (*3回, 28日) (＃)
						圃場D : 0.188/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場E : 0.163/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場F : 0.200/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場A : *0.020/<0.05/<0.05/<0.05 (*3回, 3日) (＃)
						圃場B : 0.009/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場C : 0.011/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場D : *0.014/<0.05/<0.05/<0.05 (*3回, 7日) (＃)
						圃場A : 2.04/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場B : *1.07/<0.05/<0.05/<0.05 (*3回, 3日) (＃)
						圃場C : 2.62/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場D : *1.24/<0.05/<0.05/<0.05 (*3回, 3日) (＃)
						圃場A : 0.358/<0.05/<0.05/<0.05 (＃) ^{注2)}
						圃場B : *0.160/<0.05/<0.05/<0.05 ^{注2)} (*3回, 3日) (＃)
						圃場C : 0.346/<0.05/<0.05/<0.05 (＃) ^{注2)}
						圃場D : 0.241/<0.05/<0.05/<0.05 (＃) ^{注2)}
						圃場A : 0.203/<0.05/<0.05/0.06 (＃)
						圃場B : 0.280/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場A : 0.692/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場B : *0.832/<0.05/0.42/<0.05 (*3回, 3日) (＃)
						圃場A : 0.765/<0.05/*0.09/<0.05 (*3回, 3日) (＃)
						圃場B : 0.558/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場C : 0.324/<0.05/0.10/<0.05 (＃)
						圃場A : *1.50/<0.05/<0.05/<0.05 (*3回, 3日) (＃)
						圃場B : 0.802/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場C : 0.574/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)
						圃場D : 1.24/<0.05/<0.05/<0.05 (＃)

(＃) 印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
なお、剤型は異なるものの使用量及び使用回数は適用の範囲内で行われている。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) 果肉、果皮及び種子の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
稲 (種子)	12	10.0%乳剤 (W/V)	294～307 g ai/ha 茎葉散布	2	21	圃場A:1.66/<0.01/0.04/0.05/<0.01
						圃場B:1.84/<0.01/0.02/0.03/<0.01
						圃場C:1.67/<0.01/0.09/0.03/<0.01
						圃場D:0.85/<0.01/0.07/0.09/<0.01
						圃場E:0.38/<0.01/0.06/0.05/<0.01
						圃場F:0.63/<0.01/0.15/0.09/0.01
						圃場G:1.74/<0.01/0.05/0.03/<0.01
						圃場H:1.16/<0.01/0.20/0.24/<0.01
						圃場I:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場J:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					23	圃場K:1.12/<0.01/0.05/0.07/<0.01
					14, 21, 28, 35	圃場L:*0.43/<0.01/0.07/0.10/<0.01 (*2回, 28日)
小麦	24	10.0%乳剤 (W/V)	295～305 g ai/ha 茎葉散布	2	21	圃場A:0.06/<0.01/0.17/0.06/<0.01
						圃場B:<0.01/<0.01/0.07/0.02/<0.01
						圃場C:0.03/<0.01/0.24/0.07/<0.01
						圃場D:0.10/<0.01/0.23/0.06/<0.01
						圃場E:0.13/<0.01/0.05/0.01/<0.01
						圃場F:0.10/<0.01/0.12/0.07/<0.01
						圃場G:0.04/<0.01/0.25/0.18/<0.01
						圃場H:0.14/<0.01/0.35/0.13/<0.01
						圃場I:0.04/<0.01/0.26/0.06/<0.01
						圃場J:0.27/<0.01/0.86/0.24/<0.01
						圃場K:0.08/<0.01/0.08/0.03/<0.01
						圃場L:0.02/<0.01/0.06/0.02/<0.01
						圃場M:0.03/<0.01/0.12/0.03/<0.01
						圃場N:0.12/<0.01/0.10/0.02/<0.01
						圃場O:0.11/<0.01/0.10/0.02/<0.01
						圃場P:0.09/<0.01/0.07/0.01/<0.01
						圃場Q:0.12/<0.01/0.09/0.02/<0.01
						圃場R:0.09/<0.01/0.67/0.24/<0.01
						圃場S:0.11/<0.01/0.35/0.11/<0.01
						圃場T:0.09/<0.01/0.07/0.02/<0.01
					20	圃場U:0.08/<0.01/0.07/0.02/<0.01
					20	圃場V:0.07/<0.01/0.31/0.09/<0.01
					20	圃場W:0.04/<0.01/0.03/0.01/<0.01
					14, 21, 28, 35	圃場X:*0.12/*<0.01/**0.16/**0.10/*<0.01 (*2回, 28日, **2回, 35日)
大麦	10	10.0%乳剤 (W/V)	289～309 g ai/ha 茎葉散布	2	21	圃場A:0.20/<0.01/0.15/0.09/<0.01
						圃場B:0.56/<0.01/0.76/0.18/<0.01
						圃場C:0.37/<0.01/0.31/0.03/<0.01
						圃場D:0.25/<0.01/0.06/0.01/<0.01
						圃場E:0.80/<0.01/0.13/0.02/<0.01
						圃場F:0.48/<0.01/0.25/0.06/<0.01
						圃場G:1.67/<0.01/0.59/0.17/<0.01
						圃場H:0.71/<0.01/0.88/0.27/0.02
						圃場I:0.34/<0.01/0.12/0.04/<0.01
					14, 21, 28, 35	圃場J:<0.01/<0.01/0.62/0.15/0.02
とうもろこし	20	10.0%乳剤 (W/V)	295～305 g ai/ha 茎葉散布	2	21	圃場A:<0.01/<0.01/0.20/<0.01/0.02
						圃場B:<0.01/<0.01/0.09/<0.01/0.02
						圃場C:<0.01/<0.01/0.08/<0.01/<0.01
						圃場D:<0.01/<0.01/0.14/<0.01/<0.01
						圃場E:<0.01/<0.01/0.37/<0.01/0.05
						圃場F:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場G:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場H:<0.01/<0.01/0.13/<0.01/0.03
						圃場I:<0.01/<0.01/0.36/<0.01/0.09
						圃場J:<0.01/<0.01/0.14/<0.01/<0.01
						圃場K:<0.01/<0.01/0.32/<0.01/0.02
						圃場L:<0.01/<0.01/0.07/<0.01/<0.01
						圃場M:<0.01/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
						圃場N:<0.01/<0.01/0.08/<0.01/<0.01
						圃場O:<0.01/<0.01/0.09/<0.01/0.01
						圃場P:<0.01/<0.01/0.11/<0.01/<0.01
						圃場Q:0.01/<0.01/0.20/<0.01/0.01
						圃場R:<0.01/<0.01/0.17/<0.01/0.06
						圃場S:<0.01/<0.01/0.12/<0.01/0.03
					14, 21, 28, 35	圃場T:<0.01/<0.01/*0.09/<0.01/<0.01 (*2回, 35日)
スイートコーン	13	10.0%乳剤 (W/V)	448～480 g ai/ha 茎葉散布	3	21	圃場A:<0.01/<0.01/0.30/<0.01/0.03
						圃場B:<0.01/<0.01/0.15/<0.01/<0.01
						圃場C:<0.01/<0.01/0.18/<0.01/<0.01
						圃場D:<0.01/<0.01/0.19/<0.01/0.03
						圃場E:<0.01/<0.01/0.06/<0.01/<0.01
						圃場F:<0.01/<0.01/0.09/<0.01/<0.01
						圃場G:<0.01/<0.01/0.05/<0.01/<0.01
						圃場H:<0.01/<0.01/0.13/<0.01/<0.01
						圃場I:<0.01/<0.01/0.08/<0.01/<0.01
						圃場J:0.02/<0.01/0.08/<0.01/<0.01
					22	圃場K:<0.01/<0.01/0.11/<0.01/0.01
					22	圃場L:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
					14, 21, 28, 35	圃場M:<0.01/<0.01/*0.05/<0.01/<0.01 (*2回, 28日)

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】															
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数																
ソルガム	9	10.0%乳剤 (W/V)	296～311 g ai/ha 茎葉散布	2	22	圃場A:0.42/<0.01/0.05/0.05/0.04 圃場B:<0.01/<0.01/<0.01/0.02/0.02 圃場C:0.44/<0.01/<0.01/0.02/0.02 圃場D:0.31/0.02/0.07/0.11/0.01 圃場E:0.78/<0.01/0.10/0.09/<0.01 圃場F:0.24/<0.01/0.02/0.02/<0.01 圃場G:0.52/<0.01/0.08/0.04/<0.01 圃場H:0.18/<0.01/0.06/0.02/<0.01 圃場I:*1.17/<0.01/*0.02/*0.01/*<0.01 (*2回, 28日)															
					14, 21, 28, 35																
					大豆	20	10.0%乳剤 (W/V)	298～309 g ai/ha 茎葉散布	2	21	圃場A:0.01/<0.01/0.32/0.04/0.08 圃場B:0.06/<0.01/0.12/0.01/0.01 圃場C:0.31/<0.01/0.35/<0.01/0.03 圃場D:<0.01/<0.01/0.03/0.02/0.02 圃場E:0.05/<0.01/0.15/<0.01/0.02 圃場F:0.03/<0.01/0.27/0.02/0.03 圃場G:<0.01/<0.01/0.10/<0.01/<0.01 圃場H:<0.01/<0.01/0.04/0.02/0.02 圃場I:<0.01/<0.01/0.03/<0.01/0.02 圃場J:<0.01/<0.01/0.07/0.04/0.07 圃場K:<0.01/<0.01/0.03/<0.01/0.01 圃場L:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/0.01 圃場M:<0.01/<0.01/0.04/0.01/0.02 圃場N:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場O:<0.01/<0.01/0.06/0.01/0.02 圃場P:<0.01/<0.01/0.05/0.02/0.03 圃場Q:<0.01/<0.01/0.07/0.06/0.06 圃場R:<0.01/<0.01/0.09/<0.01/0.02 圃場S:<0.01/<0.01/*0.16/0.04/*0.09 (*2回, 28日) 圃場T:<0.01/<0.01/*0.13/<0.01/<0.01 (*2回, 28日)										
										7, 14, 21, 28											
										いんげんまめ (種子)	10	10.0%乳剤 (W/V)	436～461 g ai/ha 茎葉散布	3	21	圃場A:<0.01/<0.01/0.16/<0.01/<0.01 圃場B:0.02/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場C:0.02/0.02/0.28/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.10/<0.01/<0.01 圃場F:<0.01/<0.01/0.03/<0.01/<0.01 圃場G:<0.01/<0.01/0.13/<0.01/<0.01 圃場H:<0.01/<0.01/0.10/<0.01/<0.01 圃場I:0.05/<0.01/0.03/<0.01/<0.01 圃場J:0.01/<0.01/*0.16/<0.01/<0.01 (*3回, 28日)					
															7, 14, 21, 28						
															未成熟いんげん (さや付き)	6	10.0%乳剤 (W/V)	449～467 g ai/ha 茎葉散布	3	21	圃場A:<0.01/<0.01/0.08/<0.01/<0.01 圃場B:<0.01/<0.01/0.20/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場F:*0.03/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 (*3回, 28日)
7, 14, 21, 28																					
未成熟いんげん (さやなし)	6	10.0%乳剤 (W/V)	445～456 g ai/ha 茎葉散布	3																21	圃場A:<0.01/<0.01/0.51/<0.01/<0.01 圃場B:<0.01/<0.01/0.29/<0.01/<0.01 圃場C:0.02/<0.01/0.12/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/0.06/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.12/<0.01/<0.01 圃場F:<0.01/<0.01/1.33/*<0.01/*0.04 (*3回, 28日)
																				7, 14, 21, 28	
																				レンズ豆	3
															21	圃場A:0.02/<0.01/1.00/<0.01/<0.01 圃場B:0.09/<0.01/2.29/<0.01/0.05 圃場C:0.01/<0.01/3.71/<0.01/0.04 圃場D:0.02/<0.01/1.77/<0.01/0.02 圃場E:0.01/<0.01/0.92/<0.01/0.02 圃場F:0.01/<0.01/1.77/<0.01/0.02 圃場G:0.02/<0.01/1.65/<0.01/<0.01 圃場H:<0.01/<0.01/1.91/<0.01/<0.01					
															えんどう	8	10.0%乳剤 (W/V)	449～460 g ai/ha 茎葉散布	3	21	圃場A:<0.01/<0.01/0.84/<0.01/<0.01 圃場B:<0.01/<0.01/0.38/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.01/0.49/<0.01/<0.01 圃場D:0.03/<0.01/0.61/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.33/<0.01/<0.01 圃場F:<0.01/<0.01/0.29/<0.01/<0.01 圃場G:0.03/<0.01/0.15/<0.01/<0.01 圃場H:0.02/<0.01/0.61/<0.01/<0.01 圃場I:0.08/<0.01/0.11/<0.01/<0.01
7, 14, 21, 28																					
未成熟えんどう (さや付き)	9	10.0%乳剤 (W/V)	444～459 g ai/ha 茎葉散布	3						21	圃場A:<0.01/<0.01/0.93/<0.01/0.02 圃場B:<0.01/<0.01/0.58/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.01/1.34/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/0.78/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.37/<0.01/<0.01 圃場F:<0.01/<0.01/0.71/<0.01/<0.01 圃場G:<0.01/<0.01/0.88/<0.01/<0.01 圃場H:<0.01/<0.01/0.13/<0.01/<0.01 圃場I:<0.01/<0.01/*0.29/<0.01/*<0.01 (*2回, 28日)										
										7, 14, 21, 28											
未成熟えんどう (さやなし)	9	10.0%乳剤 (W/V)	444～459 g ai/ha 茎葉散布	3						21	圃場A:<0.01/<0.01/0.93/<0.01/0.02 圃場B:<0.01/<0.01/0.58/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.01/1.34/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/0.78/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.37/<0.01/<0.01 圃場F:<0.01/<0.01/0.71/<0.01/<0.01 圃場G:<0.01/<0.01/0.88/<0.01/<0.01 圃場H:<0.01/<0.01/0.13/<0.01/<0.01 圃場I:<0.01/<0.01/*0.29/<0.01/*<0.01 (*2回, 28日)										
										7, 14, 21, 28											

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
らっかせい	12	10.0%乳剤 (W/V)	588～601 g ai/ha 茎葉散布	3	13	圃場A:<0.01/<0.01/3.96/0.12/0.50 圃場B:<0.01/<0.01/4.57/0.10/0.46 圃場C:<0.01/<0.01/4.18/0.17/0.46 圃場D:<0.01/<0.01/0.36/0.01/0.08 圃場E:<0.01/<0.01/0.22/<0.01/0.04 圃場F:<0.01/<0.01/0.47/<0.01/0.22 圃場G:<0.01/<0.01/<0.25/<0.01/0.05 圃場H:<0.01/<0.01/1.40/0.03/0.14 圃場I:<0.01/<0.01/0.28/<0.01/0.03 圃場J:<0.01/<0.01/<0.25/<0.01/0.12 圃場K:<0.01/<0.01/0.63/<0.01/0.06
					14	圃場L:<0.01/<0.01/*3.59/0.04/*0.44 (*3回, 22日)
					15	
					8, 10, 14, 17, 22	
ばれいしょ	19	10.0%乳剤 (W/V)	442～467 g ai/ha 茎葉散布	3	6	圃場A:<0.01/<0.01/0.07/<0.01/<0.01 圃場B:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.01/0.01/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/0.03/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 圃場F:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 圃場G:<0.01/<0.01/0.03/<0.01/<0.01 圃場H:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 圃場I:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場J:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場K:<0.01/<0.01/0.11/<0.01/<0.01 圃場L:<0.01/<0.01/0.23/<0.01/<0.03 圃場M:<0.01/<0.01/0.07/<0.01/<0.01 圃場N:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場O:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場P:<0.01/<0.01/0.17/<0.01/<0.01 圃場Q:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
					7	圃場R:<0.01/<0.01/*0.15/*<0.01/*<0.01 (*3回, 10日, **3回, 14日) 圃場S:*0.04/*<0.01/*<0.01/*<0.01/*<0.01 (*3回, 14日, **3回, 10日)
					3, 6, 10, 14	
					3, 7, 10, 14	
てんさい	13	10.0%乳剤 (W/V)	298～318 g ai/ha 茎葉散布	2	21	圃場A:0.15/<0.01/0.01/<0.01/<0.01 圃場B:0.12/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 圃場C:0.03/<0.01/0.03/<0.01/<0.01 圃場D:0.02/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 圃場E:0.05/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 圃場F:0.09/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場G:0.28/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 圃場H:0.08/<0.01/0.01/<0.01/<0.01 圃場I:0.04/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 圃場J:0.06/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場K:0.04/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場L:0.58/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (2回, 14日) 圃場M:0.08/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 (2回, 14日)
					14, 21, 28	
オレンジ	24	10.0%乳剤 (W/V)	443～462 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.14/<0.01/0.13/0.01/0.03 圃場B:0.17/<0.01/0.10/0.01/0.03 圃場C:0.15/<0.01/0.04/<0.01/0.01 圃場D:0.18/<0.01/0.05/<0.01/0.01 圃場E:0.19/<0.01/0.01/<0.01/<0.01 圃場F:0.15/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場G:0.19/<0.01/0.06/<0.01/0.02 圃場H:0.15/<0.01/0.10/0.01/0.03 圃場I:0.17/<0.01/0.09/0.01/0.04 圃場J:0.21/<0.01/0.11/0.02/0.05 圃場K:0.19/<0.01/0.01/<0.01/<0.01 圃場L:0.20/<0.01/0.02/<0.01/0.01 圃場M:0.46/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 圃場N:0.16/<0.01/0.01/<0.01/<0.01 圃場O:0.33/<0.01/0.03/<0.01/<0.01 圃場P:0.17/<0.01/0.03/<0.01/<0.01 圃場Q:0.24/<0.01/0.01/<0.01/<0.01 圃場R:0.13/<0.01/0.01/<0.01/<0.01 圃場S:0.23/<0.01/0.03/<0.01/<0.01 圃場T:0.16/<0.01/0.03/<0.01/<0.01 圃場U:0.14/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場V:0.15/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場W:*0.38/<0.01/*<0.03/<0.01/*0.02 (*3回, 14日, **3回, 28日) 圃場X:0.23/<0.01/*0.02/<0.01/*<0.01 (*3回, 14日, **3回, 28日)
					0, 7, 14, 21, 28	
グレープフルーツ	12	10.0%乳剤 (W/V)	443～462 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.19/<0.01/0.07/0.01/0.02 圃場B:0.24/<0.01/0.08/<0.01/0.02 圃場C:0.13/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 圃場D:0.10/<0.01/0.02/<0.01/0.01 圃場E:0.18/<0.01/0.13/0.01/0.03 圃場F:0.11/<0.01/0.13/0.02/0.03 圃場G:0.12/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 圃場H:0.07/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場I:0.07/<0.01/<0.02/<0.01/<0.01 圃場J:0.16/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場K:0.20/<0.01/*<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 7日) 圃場L:0.14/<0.01/*0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 7日)
					0, 7, 14, 21, 28	

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
レモン	12	10.0%乳剤 (W/V)	445～456 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.27/<0.01/0.05/<0.01/0.02
						圃場B:0.32/<0.01/0.04/<0.01/0.01
						圃場C:0.33/<0.01/0.02/<0.01/0.02
						圃場D:0.28/<0.01/0.02/<0.01/0.02
						圃場E:0.30/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場F:0.21/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場G:0.44/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場H:0.33/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場I:0.60/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場J:0.22/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					0, 7, 14, 21, 28	圃場K:0.37/*0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 21日)
						圃場L:0.17/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
りんご	30	40.0%フロア ブル (W/V)	428～459 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.46/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場B:0.28/<0.01/0.04/<0.01/0.02
						圃場C:<0.01/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場D:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/0.01
						圃場E:0.30/<0.01/0.05/<0.01/0.01
						圃場F:0.27/<0.01/0.08/<0.01/0.02
						圃場G:0.47/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場H:0.47/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場I:0.23/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場J:0.15/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場K:0.26/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場L:0.43/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場M:0.39/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場N:0.31/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場O:0.55/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場P:0.35/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
						圃場Q:0.26/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場R:0.17/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場S:0.45/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場T:0.31/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場U:0.43/<0.01/0.12/0.01/0.04
						圃場V:0.30/<0.01/0.17/0.02/0.05
						圃場W:0.37/<0.01/0.08/<0.01/0.05
						圃場X:0.30/<0.01/0.03/<0.01/0.03
						圃場Y:0.16/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場Z:0.15/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					0, 3, 7, 14, 21	圃場AA:0.30/<0.01/0.04/<0.01/0.01
						圃場AB:0.22/<0.01/*0.04/<0.01/<0.01 (*3回, 3日)
						圃場AC:0.42/<0.01/*0.08/<0.01/0.03 (*3回21日)
						圃場AD:0.35/<0.01/*0.08/<0.01/0.03 (*3回, 7日)
なし	18	40.0%フロア ブル (W/V)	435～457 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.30/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場B:0.27/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場C:0.34/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場D:0.25/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場E:0.32/<0.01/<0.01/<0.01/0.01
						圃場F:0.30/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場G:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/0.01
						圃場H:0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場I:0.34/<0.01/0.05/<0.01/0.02
						圃場J:0.23/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場K:0.76/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場L:0.52/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場M:0.40/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場N:0.25/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場O:0.73/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場P:0.92/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					0, 3, 7, 14, 21	圃場Q:*0.52/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 14日)
						圃場R:*0.68/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 14日)

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
もも	26	40.0%フロアブル (W/V)	444~459 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.38/<0.01/0.19/0.01/0.03
						圃場B:0.48/<0.01/0.14/<0.01/0.02
						圃場C:0.35/<0.01/0.10/0.01/0.02
						圃場D:0.38/<0.01/0.19/0.01/0.02
						圃場E:0.32/<0.01/0.12/0.01/0.02
						圃場F:0.42/<0.01/0.17/0.01/0.02
						圃場G:0.29/<0.01/2.23/0.11/0.18
						圃場H:0.60/<0.01/1.71/0.09/0.14
						圃場I:0.29/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
						圃場J:0.72/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場K:0.50/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場L:0.96/<0.01/0.05/<0.01/0.01
						圃場M:0.27/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場N:0.36/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場O:0.39/<0.01/0.29/0.02/0.04
						圃場P:0.52/<0.01/0.08/<0.01/0.01
						圃場Q:0.35/<0.01/1.22/0.06/0.11
						圃場R:0.47/<0.01/0.89/0.06/0.09
						圃場S:0.55/<0.01/0.54/0.01/0.04
						圃場T:0.70/<0.01/0.43/0.02/0.05
						圃場U:0.22/<0.01/0.05/<0.01/<0.01
						圃場V:0.96/<0.01/0.07/<0.01/<0.01
					0, 3, 7, 14	圃場W:0.41/<0.01/0.14/<0.01/<0.01
					0, 5	圃場X:0.34/<0.01/*0.14/<0.01/<0.01 (*3回, 3日)
						圃場Y:*1.34/<0.01/*2.74/*0.24/*0.14 (*3回, 5日)
						圃場Z:0.63/<0.01/0.61/0.02/*0.04 (*3回, 5日)
プラム	20	40.0%フロアブル (W/V)	437~461 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.32/<0.01/0.23/<0.01/0.01
						圃場B:0.26/<0.01/0.12/<0.01/<0.01
						圃場C:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場D:0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場E:0.03/<0.01/0.11/<0.01/0.02
						圃場F:0.03/<0.01/0.13/<0.01/0.03
						圃場G:0.21/<0.01/0.06/<0.01/0.01
						圃場H:0.30/<0.01/0.05/<0.01/<0.01
						圃場I:0.07/<0.01/0.42/<0.01/<0.01
						圃場J:0.13/<0.01/0.32/<0.01/<0.01
						圃場K:0.26/<0.01/0.27/<0.01/<0.01
						圃場L:0.19/<0.01/0.19/<0.01/<0.01
						圃場M:0.90/<0.01/0.09/<0.01/<0.01
						圃場N:0.98/<0.01/0.09/<0.01/<0.01
						圃場O:0.75/<0.01/0.06/<0.01/<0.01
						圃場P:0.98/<0.01/0.06/<0.01/<0.01
						圃場Q:0.26/<0.01/0.19/<0.01/<0.01
						圃場R:0.37/<0.01/0.23/<0.01/<0.01
					0, 3, 7, 14, 21	圃場S:*0.21/<0.01/**0.25/<0.01/0.02 (*3回, 3日, **3回, 21日)
						圃場T:*0.16/<0.01/**0.16/<0.01/<0.01 (*3回, 3日, **3回, 21日)
おうとう	8	40.0%フロアブル (W/V)	445~456 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.96/<0.01/0.05/<0.01/<0.01
						圃場B:1.05/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場C:0.45/<0.01/0.11/0.01/<0.01
						圃場D:1.08/<0.01/0.10/0.01/<0.01
					0, 3, 7, 14, 21	圃場E:1.00/<0.01/0.25/<0.01/<0.01
						圃場F:0.92/<0.01/0.31/<0.01/<0.01
						圃場G:0.63/<0.01/1.10/0.03/0.06
						圃場H:0.94/<0.01/1.29/*0.04/0.06 (*3回, 14日)
タルトチェリー	8	40.0%フロアブル (W/V)	448~462 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:1.45/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場B:2.05/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場C:0.95/<0.01/0.29/0.04/0.17
						圃場D:1.39/<0.01/0.34/0.05/0.15
						圃場E:0.04/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場F:0.03/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場G:1.55/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場H:2.25/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
ぶどう (ワイン用)	26	40.0%フロアブル (W/V)	441～468 g ai/ha 茎葉散布	3	14, 21	圃場A: *0.75/<0.01/*0.06/<0.01/*0.07 (*3回, 21日)
						圃場B: 0.83/<0.01/*0.05/<0.01/*0.05 (*3回, 21日)
						圃場C: 0.67/<0.01/0.03/<0.01/0.04
						圃場D: 0.45/<0.01/0.04/<0.01/0.03
						圃場E: 0.23/<0.01/*0.02/<0.01/*0.01 (*3回, 21日)
						圃場F: 0.72/<0.01/0.03/<0.01/*0.02 (*3回, 21日)
						圃場G: 0.69/<0.01/*0.04/<0.01/*0.06 (*3回, 21日)
						圃場H: *0.41/<0.01/*0.04/<0.01/0.04 (*3回, 21日)
						圃場I: 0.36/<0.01/0.02/0.03/0.07
						圃場J: 0.38/<0.01/0.01/*0.03/*0.02 (*3回, 21日)
						圃場K: *0.63/<0.01/0.02/<0.01/0.05 (*3回, 21日)
						圃場L: 1.03/<0.01/0.03/0.01/0.11
						圃場M: *0.41/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 21日)
						圃場N: 0.28/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場O: 0.48/<0.01/0.03/<0.01/*0.04 (*3回, 21日)
						圃場P: 0.46/<0.01/0.03/<0.01/*0.04 (*3回, 21日)
						圃場Q: 0.11/<0.01/<0.01/<0.01/0.03
						圃場R: 0.34/<0.01/<0.01/<0.01/0.02
						圃場S: 1.07/<0.01/*0.03/<0.01/0.02 (*3回, 21日)
						圃場T: 0.90/<0.01/*0.05/<0.01/*0.02 (*3回, 21日)
						圃場U: *0.28/<0.01/*0.04/<0.01/*0.09 (*3回, 21日)
						圃場V: 0.41/<0.01/0.05/<0.01/0.09
					3, 7, 14, 21	圃場W: 0.16/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場X: 0.33/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場Y: 0.20/<0.01/*0.03/<0.01/*0.05 (*3回, 21日)
						圃場Z: 0.25/<0.01/0.03/<0.01/*0.05 (*3回, 21日)
なたね	13	10.0%乳剤 (W/V)	294～327 g ai/ha 茎葉散布	2	21	20 圃場A: 0.06/<0.01/0.73/<0.01/0.01
						圃場B: 0.15/<0.01/0.85/<0.01/0.02
						圃場C: 0.04/<0.01/0.37/<0.01/0.02
						圃場D: 0.01/<0.01/0.37/<0.01/0.03
						圃場E: 0.06/<0.01/0.37/<0.01/<0.01
						圃場F: 0.12/<0.01/1.05/0.01/0.07
						圃場G: 0.01/<0.01/0.15/<0.01/<0.01
						圃場H: 0.04/0.02/0.24/<0.01/<0.01
						圃場I: <0.01/<0.01/1.19/0.01/0.04
						圃場J: 0.25/0.01/1.28/0.02/0.20
					圃場K: 0.25/0.02/0.58/<0.01/0.02	
					22	圃場L: 0.05/<0.01/0.71/<0.01/0.03
						7, 10, 14, 21, 28 圃場M: 0.74/<0.01/0.88/0.02/*0.03 (*2回, 28日)
					ペカン	10
圃場B: <0.01/<0.01/0.84/0.06/0.16						
圃場C: <0.01/<0.01/0.16/0.02/0.04						
圃場D: <0.01/<0.01/0.10/0.02/0.04						
14	圃場E: <0.01/<0.01/0.04/<0.01/0.01					
	圃場F: <0.01/<0.01/0.03/<0.01/0.01					
15	圃場G: <0.01/<0.01/0.04/<0.01/0.01					
	圃場H: <0.01/<0.01/0.07/<0.01/0.02					
3, 7, 15, 21	圃場I: *<0.01/*<0.01/**0.67/**0.06/**0.14 (*3回, 15日, **3回, 21日)					
	圃場J: *<0.01/*<0.01/*0.64/**0.07/*0.18 (*3回, 15日, **3回, 21日)					
ピスタチオ	6	40.0%水和剤 (W/V)	444～458 g ai/ha 茎葉散布	3	14	圃場A: 0.04/<0.01/<0.2/<0.01/<0.01
						圃場B: 0.01/<0.01/<0.2/<0.01/0.01
					3, 7, 14, 21	圃場C: 0.01/<0.01/<0.2/<0.01/0.02
						圃場D: 0.01/<0.01/0.21/<0.01/0.03
アーモンド	10	40.0%水和剤 (W/V)	445～462 g ai/ha 茎葉散布	3	14	圃場E: 0.01/<0.01/0.37/<0.01/0.05
						圃場F: *0.01/<0.01/*0.38/<0.01/*0.05 (*3回, 21日)
						圃場A: <0.01/<0.01/<0.4/<0.01/0.01
						圃場B: <0.01/<0.01/<0.4/<0.01/0.01
						圃場C: <0.01/<0.01/<0.4/<0.01/<0.01
						圃場D: <0.01/<0.01/<0.4/<0.01/<0.01
					15	圃場E: <0.01/<0.01/1.35/0.02/0.02
						圃場F: 0.02/<0.01/1.76/0.03/0.03
3, 7, 14, 21	圃場G: <0.01/<0.01/<0.4/<0.01/<0.01					
	圃場H: <0.01/<0.01/<0.4/<0.01/<0.01					
にんじん	11	10%乳剤 (W/V)	451～465 g ai/ha 茎葉散布	3	7	圃場I: <0.01/0.01/*2.02/0.03/0.03 (*3回, 21日)
						圃場J: <0.01/<0.01/*2.96/*0.04/*0.04 (*3回, 21日)
						圃場A: 0.16/<0.01/0.076/<0.01/<0.01 (#)
						圃場B: 0.22/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)
						圃場C: 0.14/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
						圃場D: 0.12/<0.01/0.018/<0.01/<0.01 (#)
						圃場E: 0.098/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)
						圃場F: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
						圃場G: <0.01/<0.01/0.016/<0.01/<0.01 (#)
						圃場H: 0.11/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
					3, 5, 7, 10, 14	圃場I: 0.059/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
						圃場J: 0.052/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
						圃場K: *0.24/<0.01/*0.022/<0.01/<0.01 (*3回, 14日) (#)

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
ラディッシュ (根)	7	10.0%乳剤 (W/V)	438~457 g ai/ha 茎葉散布	3	7	圃場A:0.034/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#) 圃場B:0.03/<0.01/0.021/<0.01/<0.01 (#) 圃場C:0.13/<0.01/0.074/<0.01/<0.01 (#) 圃場D:0.082/<0.01/0.016/<0.01/<0.01 (#) 圃場E:0.38/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)
					8	圃場F:0.11/<0.01/0.018/<0.01/<0.01 (#)
					3, 5, 7, 10, 14	圃場G:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
ラディッシュ (葉)	7	10.0%乳剤 (W/V)	438~457 g ai/ha 茎葉散布	3	7	圃場A:3.3/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#) 圃場B:8.0/<0.01/0.018/<0.01/<0.01 (#) 圃場C:4.9/<0.01/0.022/<0.01/0.012 (#) 圃場D:1.1/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#) 圃場E:5.1/<0.01/0.012/<0.01/<0.01 (#)
					8	圃場F:3.2/<0.01/0.024/<0.01/<0.01 (#)
					3, 5, 7, 10, 14	圃場G:0.37/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
かぶ (葉)	5	10.0%乳剤 (W/V)	451~457 g ai/ha 茎葉散布	3	7	圃場A:3.2/<0.01/0.043/<0.01/<0.01 (#) 圃場B:7.0/<0.01/0.054/<0.01/0.023 (#) 圃場C:7.2/<0.01/0.015/<0.01/<0.01 (#) 圃場D:5.6/<0.01/0.038/<0.01/0.028 (#)
					3, 5, 7, 10, 14	圃場E:10/<0.01/*0.087/<0.01/*0.028 (*3回, 14日) (#)
					6	圃場A:0.032/<0.01/0.020/<0.01/<0.01 圃場B:0.09/<0.01/0.028/<0.01/<0.01 圃場C:0.10/<0.01/0.018/<0.01/<0.01 圃場D:0.047/<0.01/0.082/<0.01/<0.01 圃場E:0.013/<0.01/0.018/<0.01/<0.01 圃場F:0.012/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場G:<0.01/<0.01/0.052/<0.01/<0.01 圃場H:0.052/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場I:0.034/<0.01/0.043/<0.01/<0.01 圃場J:0.088/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 圃場K:0.094/<0.01/0.092/<0.01/<0.01 圃場L:0.021/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場M:0.11/<0.01/*0.055/<0.01/<0.01 (*3回, 15日)
たまねぎ	13	40.0%水和剤 (W/V)	448~465 g ai/ha 茎葉散布	3	7	圃場A:0.28/<0.01/0.032/<0.01/0.034 圃場B:0.42/<0.01/0.022/<0.01/<0.01 圃場C:2.0/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:0.11/<0.01/0.042/<0.01/<0.01 圃場E:0.39/<0.01/0.069/<0.01/0.068
					8	圃場A:2.0/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B:0.32/<0.01/0.013/<0.01/<0.01 圃場C:1.5/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:0.88/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場E:1.3/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:0.27/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場G:0.12/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場H:2.2/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					0, 3, 7, 10	圃場A:1.6/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B:<0.01/<0.01/0.020/<0.01/<0.01 圃場C:0.090/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:0.046/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
結球レタス (外 葉付き)	8	40.0%水和剤 (W/V)	447~466 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:3.0/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B:6.4/<0.01/<0.01/<0.01/0.014 圃場C:4.4/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:4.2/<0.01/<0.01/<0.01/0.013 圃場E:2.4/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:2.2/<0.01/<0.01/<0.01/0.028 圃場G:7.2/<0.01/<0.01/<0.01/0.026 圃場H:2.6/<0.01/<0.01/<0.01/0.015 圃場A:12/<0.01/0.012/<0.01/0.013 圃場B:5.2/<0.01/0.030/<0.01/0.019 圃場C:17/<0.01/0.016/<0.01/<0.01 圃場D:12/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場E:3.8/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:4.6/<0.01/0.018/<0.01/0.023 圃場G:4.8/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場H:11/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場A:12/<0.01/0.080/<0.01/0.014 圃場B:5.0/<0.01/0.068/<0.01/<0.01 圃場C:4.1/<0.01/0.14/<0.01/<0.01 圃場D:8.2/<0.01/0.054/<0.01/0.011
					0	圃場A:0.360/<0.01/0.0374/<0.01/0.0421 (#) 圃場B:0.125/<0.01/0.0102/<0.01/<0.01 (#)
					0, 3, 5, 7, 10	圃場C:0.405/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
結球レタス (外 葉なし)	4	40.0%水和剤 (W/V)	449~466 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:1.6/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B:<0.01/<0.01/0.020/<0.01/<0.01 圃場C:0.090/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:0.046/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					0	圃場A:3.0/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B:6.4/<0.01/<0.01/<0.01/0.014 圃場C:4.4/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:4.2/<0.01/<0.01/<0.01/0.013 圃場E:2.4/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:2.2/<0.01/<0.01/<0.01/0.028 圃場G:7.2/<0.01/<0.01/<0.01/0.026 圃場H:2.6/<0.01/<0.01/<0.01/0.015 圃場A:12/<0.01/0.012/<0.01/0.013 圃場B:5.2/<0.01/0.030/<0.01/0.019 圃場C:17/<0.01/0.016/<0.01/<0.01 圃場D:12/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場E:3.8/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:4.6/<0.01/0.018/<0.01/0.023 圃場G:4.8/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場H:11/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場A:12/<0.01/0.080/<0.01/0.014 圃場B:5.0/<0.01/0.068/<0.01/<0.01 圃場C:4.1/<0.01/0.14/<0.01/<0.01 圃場D:8.2/<0.01/0.054/<0.01/0.011
					0	圃場A:0.360/<0.01/0.0374/<0.01/0.0421 (#) 圃場B:0.125/<0.01/0.0102/<0.01/<0.01 (#)
非結球レタス	8	40.0%水和剤 (W/V)	447~466 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:12/<0.01/0.080/<0.01/0.014 圃場B:5.0/<0.01/0.068/<0.01/<0.01 圃場C:4.1/<0.01/0.14/<0.01/<0.01 圃場D:8.2/<0.01/0.054/<0.01/0.011
					0	圃場A:0.360/<0.01/0.0374/<0.01/0.0421 (#) 圃場B:0.125/<0.01/0.0102/<0.01/<0.01 (#)
					0, 3, 5, 6, 9	圃場C:0.405/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
マスタードグ リーン	4	40.0%水和剤 (W/V)	437~455 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:12/<0.01/0.080/<0.01/0.014 圃場B:5.0/<0.01/0.068/<0.01/<0.01 圃場C:4.1/<0.01/0.14/<0.01/<0.01 圃場D:8.2/<0.01/0.054/<0.01/0.011
					0	圃場A:0.360/<0.01/0.0374/<0.01/0.0421 (#) 圃場B:0.125/<0.01/0.0102/<0.01/<0.01 (#)
					0, 3, 5, 7, 10	圃場C:0.405/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
チェリートマト	3	10.0%乳剤 (W/V)	417~446 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.360/<0.01/0.0374/<0.01/0.0421 (#) 圃場B:0.125/<0.01/0.0102/<0.01/<0.01 (#)
					0, 3, 5, 7, 10	圃場C:0.405/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
トマト	16	10.0%乳剤 (W/V)	443~468 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.145/<0.01/0.0195/<0.01/<0.01 (#)
						圃場B:0.142/<0.01/0.0314/<0.01/<0.01 (#)
						圃場C:0.145/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
						圃場D:0.248/<0.01/0.0180/<0.01/<0.01 (#)
						圃場E:0.0255/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
						圃場F:0.0500/<0.01/0.0276/<0.01/<0.01 (#)
						圃場G:0.190/<0.01/0.0182/<0.01/<0.01 (#)
						圃場H:0.110/<0.01/0.0208/<0.01/<0.01 (#)
						圃場I:0.0950/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
						圃場J:0.078/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
						圃場K:0.0470/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
						圃場L:0.042/<0.01/0.0116/<0.01/<0.01 (#)
						圃場M:0.171/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
						圃場N:0.0850/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
						圃場O:0.370/<0.01/0.0141/<0.01/<0.01 (#)
ピーマン	9	10.0%乳剤 (W/V)	445~454 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場P:0.228/<0.01/*0.0140/<0.01/<0.01 (*3回, 7日) (#)
						圃場A:0.202/<0.01/0.0436/<0.01/<0.01 (#)
						圃場B:0.049/<0.01/0.0435/<0.01/<0.01 (#)
						圃場C:0.062/<0.01/0.0383/<0.01/<0.01 (#)
						圃場D:0.044/<0.01/0.0120/<0.01/<0.01 (#)
						圃場E:0.222/<0.01/0.0764/<0.01/<0.01 (#)
						圃場F:0.428/<0.01/0.0136/<0.01/<0.01 (#)
						圃場G:0.297/<0.01/0.0340/<0.01/<0.01 (#)
						圃場H:0.729/<0.01/0.0968/<0.01/<0.01 (#)
						圃場I:0.064/<0.01/*0.0561/<0.01/<0.01 (*3回, 10日) (#)
						圃場A:0.265/<0.01/0.120/<0.01/0.0199 (#)
						圃場B:0.602/<0.01/0.0392/<0.01/<0.01 (#)
						圃場C:*0.238/<0.01/**0.0712/<0.01/*0.0131 (*3回, 3日, **3回, 10日) (#)
						圃場D:0.028/<0.01/0.107/<0.01/<0.01
						圃場E:0.034/<0.01/0.138/<0.01/<0.01
きゅうり	9	40.0%水和剤 (W/V)	446~467 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場C:0.096/<0.01/0.137/<0.01/0.011
						圃場D:0.020/<0.01/0.079/<0.01/<0.01
						圃場E:0.012/<0.01/0.107/<0.01/<0.01
						圃場F:0.024/<0.01/0.116/<0.01/<0.01
						圃場G:0.042/<0.01/0.023/<0.01/<0.01
						圃場H:0.032/<0.01/0.040/<0.01/<0.01
						圃場I:0.030/<0.01/*0.272/<0.01/**0.012 (*3回, 7日, **3回, 10日)
						圃場A:0.052/<0.01/0.111/<0.01/0.013
						圃場B:0.046/<0.01/0.044/<0.01/<0.01
						圃場C:0.084/<0.01/0.060/<0.01/<0.01
						圃場D:0.048/<0.01/0.027/<0.01/<0.01
						圃場E:0.088/<0.01/0.022/<0.01/<0.01
						圃場F:0.040/<0.01/0.020/<0.01/<0.01
						圃場G:<0.01/<0.01/0.016/<0.01/<0.01
サマースカッシュ	8	40.0%水和剤 (W/V)	449~460 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場H:<0.01/<0.01/*0.018/<0.01/**0.032 (*3回, 10日, **3回, 7日)
						圃場A:0.160/<0.01/0.044/<0.01/0.01
						圃場B:0.104/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場C:0.217/<0.01/0.020/<0.01/<0.01
						圃場D:0.108/<0.01/0.049/<0.01/0.020
						圃場E:0.112/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場F:0.143/<0.01/0.024/<0.01/<0.01
						圃場G:0.208/<0.01/0.018/<0.01/<0.01
						圃場H:0.164/<0.01/*0.012/<0.01/<0.01 (*3回, 10日)
						圃場A:0.25/<0.01/0.01/<0.01/0.01
						圃場B:0.71/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場C:1.22/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場D:1.32/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場E:1.30/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
ブラックベリー	6	40.0%水和剤 (W/V)	445~454 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場F:0.35/<0.01/*0.04/<0.01/<0.01 (*3回, 1日)
						圃場A:0.58/<0.01/<0.01/<0.01/0.01
						圃場B:0.76/<0.01/<0.01/<0.01/0.01
						圃場C:0.68/<0.01/0.02/<0.01/0.08
						圃場D:0.51/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場E:0.06/<0.01/<0.01/<0.01/0.01
						圃場F:0.18/<0.01/<0.01/<0.01/0.03
						圃場G:0.56/<0.01/<0.01/<0.01/0.01
						圃場H:3.16/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場I:0.74/<0.01/<0.01/<0.01/*0.02 (*3回, 7日)
						圃場A:0.14/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場B:0.44/<0.01/0.02/<0.01/0.01
						圃場C:0.50/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場D:0.08/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
ブルーベリー	9	40.0%水和剤 (W/V)	437~464 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場E:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場F:0.43/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場G:0.62/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
						圃場H:1.05/-/-/-/-
						圃場I:0.29/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場J:0.24/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場K:<0.01/<0.01/*0.02/<0.01/<0.01 (*3回, 3日)
						圃場A:0.14/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場B:0.44/<0.01/0.02/<0.01/0.01
						圃場C:0.50/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場D:0.08/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場E:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場F:0.43/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場G:0.62/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
						圃場H:1.05/-/-/-/-
いちご	11	40.0%水和剤 (W/V)	445~468 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場I:0.29/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場J:0.24/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場K:<0.01/<0.01/*0.02/<0.01/<0.01 (*3回, 3日)
						圃場A:0.14/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場B:0.44/<0.01/0.02/<0.01/0.01
						圃場C:0.50/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場D:0.08/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場E:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場F:0.43/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場G:0.62/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
						圃場H:1.05/-/-/-/-
						圃場I:0.29/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場J:0.24/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場K:<0.01/<0.01/*0.02/<0.01/<0.01 (*3回, 3日)
						圃場A:0.14/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場B:0.44/<0.01/0.02/<0.01/0.01
						圃場C:0.50/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場D:0.08/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場E:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場F:0.43/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場G:0.62/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
						圃場H:1.05/-/-/-/-
						圃場I:0.29/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場J:0.24/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場K:<0.01/<0.01/*0.02/<0.01/<0.01 (*3回, 3日)

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】	
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数		
ひまわり	10	10.0%乳剤 (W/V)	295～307 g ai/ha 茎葉散布	2	18	圃場A:0.012/<0.01/0.055/0.060/<0.01	
					20	圃場B:0.056/<0.01/0.32/0.52/0.014 圃場C:0.047/<0.01/0.26/0.23/<0.01	
					21	圃場D:0.010/<0.01/0.015/0.012/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.018/0.018/<0.01 圃場F:<0.01/<0.01/0.016/0.018/<0.01 圃場G:0.062/<0.01/0.050/0.066/<0.01 圃場H:0.041/<0.01/0.056/0.046/<0.01	
						22	圃場I:<0.01/<0.01/0.054/0.041/<0.01
						14, 22, 28, 35	圃場J:<0.01/<0.01/*0.12/0.18/<0.01 (*3回, 35日, **3回, 22日)
						28	圃場A:0.052/<0.01/0.20/<0.01/0.074
					綿実	12	10.0%乳剤 (W/V)
30	圃場J:0.10/<0.01/0.27/<0.01/0.068 圃場K:0.042/<0.01/0.72/<0.01/0.16 圃場L:0.035/<0.01/3.22/0.024/0.46						
	31	圃場A:0.48/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B:0.38/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場C:0.97/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:0.42/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場E:0.36/<0.01/0.016/<0.01/<0.01 圃場F:0.25/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場G:0.097/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場H:0.30/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場A:<0.01/<0.01/*0.028/<0.01/*0.024 (*5回, 7日) (#) 圃場B:<0.01/<0.01/*0.030/<0.01/**0.028 (*5回, 1日, **5回, 3日) (#) 圃場C:0.015/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場D:<0.01/<0.01/*0.013/<0.01/0.014 (*5回, 7日) (#) 圃場E:0.16/<0.01/0.013/<0.01/0.014 (#) 圃場F:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場G:<0.01/<0.01/0.025/<0.01/0.01 (#) 圃場H:<0.01/<0.01/0.018/<0.01/0.011 (#) 圃場I:0.012/<0.01/<0.01/<0.01/0.01 (#) 圃場J:0.043/<0.01/0.011/<0.01/0.020 (#) 圃場F:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場G:<0.01/<0.01/0.026/<0.01/0.01 (#) 圃場H:<0.01/<0.01/0.012/<0.01/0.018 (#) 圃場I:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場J:0.014/<0.01/0.011/<0.01/0.021 (#) 圃場A:*0.65/<0.01/*0.024/<0.01/**0.027 (*5回, 1日, **5回, 7日) (#) 圃場B:0.74/<0.01/*0.038/<0.01/*0.017 (*5回, 7日) (#) 圃場C:*0.54/<0.01/0.013/<0.01/<0.01 (*5回, 7日) (#) 圃場D:*0.57/<0.01/**0.027/<0.01/0.018 (*5回, 3日, **5回, 7日) (#) 圃場E:*0.24/<0.01/*0.015/<0.01/**0.015 (*5回, 1日, **5回, 3日) (#) 圃場F:0.47/<0.01/0.018/<0.01/0.012 (#) 圃場G:0.026/<0.01/0.018/<0.01/0.01 (#) 圃場H:0.35/<0.01/0.030/<0.01/0.029 (#) 圃場I:0.16/<0.01/0.012/<0.01/0.017 (#) 圃場J:0.12/<0.01/0.021/<0.01/0.028 (#) 圃場F:0.28/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場G:0.042/<0.01/0.018/<0.01/0.01 (#) 圃場H:0.19/<0.01/0.018/<0.01/0.027 (#) 圃場I:0.11/<0.01/0.011/<0.01/0.013 (#) 圃場J:0.053/<0.01/0.025/<0.01/0.037 (#) 圃場A:*0.035/<0.01/0.043/<0.01/0.022 (*5回, 3日) (#) 圃場B:<0.01/<0.01/*0.038/<0.01/**0.021 (*5回, 3日, **5回, 7日) (#) 圃場C:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場D:<0.01/<0.01/0.021/<0.01/<0.01 (#) 圃場E:0.033/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場F:<0.01/<0.01/0.010/<0.01/<0.01 (#) 圃場G:<0.01/<0.01/0.019/<0.01/<0.01 (#) 圃場H:<0.01/<0.01/0.017/<0.01/<0.01 (#) 圃場I:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場J:0.094/<0.01/0.011/<0.01/0.012 (#) 圃場F:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場G:<0.01/<0.01/0.016/<0.01/0.01 (#) 圃場H:<0.01/<0.01/0.025/<0.01/<0.01 (#) 圃場I:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場J:<0.01/<0.01/0.013/<0.01/0.012 (#)					

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
バナナ注2) (果肉、袋なし)	10	40.0%水和剤 (W/V)	700 g ai/ha 茎葉散布	5	0, 1, 3, 7	圃場A: *0.21/<0.01/*0.037/<0.01/*0.020 (*5回, 7日) (#)
						圃場B: 0.21/<0.01/*0.025/<0.01/<0.01 (*5回, 3日) (#)
						圃場C: *0.052/<0.01/*0.013/<0.01/<0.01 (*5回, 3日, **5回, 7日) (#)
						圃場D: *0.053/<0.01/*0.036/<0.01/<0.01 (*5回, 1日) (#)
						圃場E: *0.14/<0.01/*0.023/<0.01/*0.012 (*5回, 7日) (#)
					0	圃場F: 0.040/<0.01/0.015/<0.01/<0.01 (#)
						圃場G: <0.01/<0.01/0.027/<0.01/0.01 (#)
						圃場H: 0.047/<0.01/0.016/<0.01/0.010 (#)
						圃場I: 0.039/<0.01/0.012/<0.01/<0.01 (#)
						圃場J: <0.01/<0.01/0.029/<0.01/0.015 (#)
					0 (室温で7日間保存)	圃場F: 0.015/<0.01/0.011/<0.01/<0.01 (#)
						圃場G: <0.01/<0.01/0.017/<0.01/<0.01 (#)
						圃場H: 0.091/<0.01/0.043/<0.01/0.014 (#)
						圃場I: 0.057/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)
						圃場J: 0.011/<0.01/0.033/<0.01/0.020 (#)
コーヒード注3)	5	13.3%乳剤 (W/V)	399 g ai/ha 茎葉散布	3	15, 30, 45, 60	圃場A: *0.016/<0.01/0.33/<0.01/*0.019 (*3回, 60日)
						圃場B: <0.01/<0.01/0.41/<0.01/0.022
						圃場C: 0.069/<0.01/*0.37/0.041/0.038 (*3回, 60日)
						圃場D: <0.01/<0.01/*0.30/<0.01/0.015 (*3回, 60日)
						圃場E: <0.01/<0.01/*0.29/<0.01/0.014 (*3回, 60日)
	5	20.0%乳剤 (W/V)	480 g ai/ha 茎葉散布	3	15, 30, 45, 60	圃場A: <0.01/-/-/-/-
						圃場B: <0.01/-/-/-/-
						圃場C: <0.01/-/-/-/-
						圃場D: <0.01/-/-/-/-
						圃場E: <0.01/-/-/-/-
	5	20.0%乳剤 (W/V)	450 g ai/ha 茎葉散布	3	15, 30, 45, 60	圃場A: 0.014/-/-/-/-
						圃場B: 0.020/-/-/-/-
						圃場C: *0.018/-/-/-/- (*3回, 60日)
						圃場D: *0.017/-/-/-/- (*3回, 60日)
						圃場E: 0.012/-/-/-/-
	2	20.0%乳剤 (W/V)	480 g ai/ha 茎葉散布	3	15, 30, 45, 60	圃場A: *0.330/<0.01/*0.280/<0.01/*0.061 (*3回, 60日)
						圃場B: *0.140/<0.01/0.340/<0.01/0.050 (*3回, 60日)
	2	20.0%乳剤 (W/V)	480 g ai/ha 茎葉散布	3	15, 30, 45, 60	圃場A: <0.01/<0.01/*0.022/<0.01/<0.01 (*3回, 60日) (#)
						圃場B: <0.01/<0.01/0.021/<0.01/<0.01 (#)

-:分析せず

(#) 印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。なお、剤型は異なるものの使用量及び使用回数は適用の範囲内で行われている。

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
小麦	0.3	0.3			0.3 米国	【<0.01～0.27(n=24)(米国)】 【米国大麦(<0.01～1.67(n=10))、稲(<0.01～1.84(n=12))、ソルガム(<0.01～1.17(n=9))】 【米国大麦、稲、ソルガム参照】 【米国とうもろこし(<0.01～0.01(n=20))、スイートコーン(<0.01～0.02(n=13))】 【米国大麦、稲、ソルガム参照】 【米国大麦、稲、ソルガム参照】
大麦	4	4			4 米国	
ライ麦	4	4			4 米国	
とうもろこし	0.03	0.03			0.03 米国	
そば	4	4			4 米国	
その他の穀類	4	4			4 米国	
大豆	0.4	0.4			0.4 米国	【<0.01～0.31(n=20)(米国)】 【米国レンズ豆(0.06～0.68(n=3))】 【米国いんげん類(<0.01～0.05(n=22))、えんどう類(<0.01～0.09(n=26))】 【米国いんげん類、えんどう類参照】 【<0.01(n=12)(米国)】 【米国いんげん類、えんどう類参照】
小豆類	2	2			2 米国	
えんどう	0.2	0.2			0.15 米国	
そら豆	0.2	0.2			0.15 米国	
らっかせい	0.01	0.01			0.01 米国	
その他の豆類	0.2	0.2			0.15 米国	
ばれいしょ	0.04	0.04			0.04 米国	【<0.01～0.04(n=19)(米国)】 【米国ばれいしょ参照】 【米国ばれいしょ参照】 【米国ばれいしょ参照】 【米国ばれいしょ参照】
さといも類(やつがしらを含む。)	0.04	0.04			0.04 米国	
かんしょ	0.04	0.04			0.04 米国	
やまいも(長いものをいう。)	0.04	0.04			0.04 米国	
その他のいも類	0.04	0.04			0.04 米国	
てんさい	0.6	0.6			0.6 米国	【0.02～0.58(n=13)(米国)】 【0.097～0.97(n=8)(米国)】
さとうきび	2		IT		1.5 米国	
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.7		IT		0.7 米国	【米国にんじん(<0.01～0.24(n=11))、ラディッシュ(根)(<0.01～0.38(n=7))】 【米国ラディッシュ(葉)(0.37～8.0(n=7))、かぶ(葉)(3.2～10(n=5))】 【米国にんじん、ラディッシュ(根)参照】 【米国ラディッシュ(葉)、かぶ(葉)参照】 【米国にんじん、ラディッシュ(根)参照】 【米国非結球レタス(2.2～7.2(n=8)、ほうれんそう(3.8～17(n=8)、マスタードグリーン(4.1～12(n=4))】 【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	20		IT		20 米国	
かぶ類の根	0.7		IT		0.7 米国	
かぶ類の葉	20		IT		20 米国	
西洋わさび	0.7		IT		0.7 米国	
クレソン	30		IT		30 米国	
その他のあぶらな科野菜	30		IT		30 米国	
ごぼう	0.7		IT		0.7 米国	【米国にんじん、ラディッシュ(根)参照】 【米国にんじん、ラディッシュ(根)参照】 【米国ラディッシュ(葉)、かぶ(葉)参照】 【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】 【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】 【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】 【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】
サルシフィー	0.7		IT		0.7 米国	
チコリ	20		IT		20 米国	
エンダイブ	30		IT		30 米国	
しゅんぎく	30		IT		30 米国	
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	30		IT		30 米国	
その他のきく科野菜	30		IT		30 米国	
たまねぎ	0.2		IT		0.2 米国	【<0.01～0.11(n=13)(米国)】 【0.11～2.0(n=5)(米国)】 【米国たまねぎ参照】 【米国ねぎ参照】 【米国ねぎ参照】 【米国ねぎ参照】
ねぎ(リーキを含む。)	4		IT		4 米国	
にんにく	0.2		IT		0.2 米国	
にら	4		IT		4 米国	
わけぎ	4		IT		4 米国	
その他のゆり科野菜	4		IT		4 米国	
にんじん	0.7		IT		0.7 米国	【米国にんじん、ラディッシュ(根)参照】 【米国にんじん、ラディッシュ(根)参照】 【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】 【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】
パースニップ	0.7		IT		0.7 米国	
パセリ	30		IT		30 米国	
その他のせり科野菜	30		IT		30 米国	

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
トマト	0.9		IT		0.9 米国	【米国チェリートマト(0.125～0.405(#)(n=3))、トマト(0.0255～0.370(#)(n=16))、ピーマン(0.044～0.729(#)(n=9))、トウガラシ(0.238～0.666(#)(n=9))】
ピーマン	0.9		IT		0.9 米国	【米国チェリートマト、トマト、ピーマン、トウガラシ参照】
なす	0.9		IT		0.9 米国	【米国チェリートマト、トマト、ピーマン、トウガラシ参照】
その他のなす科野菜	0.9		IT		0.9 米国	【米国チェリートマト、トマト、ピーマン、トウガラシ参照】
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.2		IT		0.2 米国	【米国きゅうり(0.012～0.096(n=9))、スカッシュ(<0.01～0.088(n=8))】
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.2		IT		0.2 米国	【米国きゅうり、スカッシュ参照】
しろうり	0.5		IT		0.5 米国	【米国マスキメロン(0.104～0.217(n=8))】
すいか(果皮を含む。)	0.5		IT		0.5 米国	【米国マスキメロン参照】
メロン類果実(果皮を含む。)	0.5		IT		0.5 米国	【米国マスキメロン参照】
まくわうり(果皮を含む。)	0.5		IT		0.5 米国	【米国マスキメロン参照】
その他のうり科野菜	0.2	0.04	IT		0.2 米国	【米国きゅうり、スカッシュ参照】
ほうれんそう	30		IT		30 米国	【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】
オクラ	0.9		IT		0.9 米国	【米国トマト、ピーマン、トウガラシ参照】
しょうが	0.04	0.04			0.04 米国	【米国ばれいしょ参照】
未成熟えんどう	0.2	0.2			0.15 米国	【米国いんげん類、えんどう類参照】
未成熟いんげん	0.2	0.2			0.15 米国	【米国いんげん類、えんどう類参照】
えだまめ	0.2	0.2			0.15 米国	【米国いんげん類、えんどう類参照】
その他の野菜	30	1	IT		30 米国	【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】
みかん(外果皮を含む。)	0.6	0.6			0.6 米国	【米国オレンジ参照】
なつみかんの果実全体	0.5	0.5			0.5 米国	【米国グレープフルーツ参照】
レモン	1	1			1 米国	【0.17～0.6(n=12)(米国)】
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.6	0.6			0.6 米国	【0.13～0.46(n=24)(米国)】
グレープフルーツ	0.5	0.5			0.5 米国	【0.07～0.24(n=12)(米国)】
ライム	1	1			1 米国	【米国レモン参照】
その他のかんきつ類果実	1	1			1 米国	【米国レモン参照】
りんご	2	2	申		1.5 米国	【米国りんご(<0.01～0.55(n=30))、なし(<0.01～0.92(n=18))】
日本なし	2	2	申		1.5 米国	【米国りんご、なし参照】
西洋なし	2	2	申		1.5 米国	【米国りんご、なし参照】
マルメロ	2	2			1.5 米国	【米国りんご、なし参照】
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	2	2			1.5 米国	【米国りんご、なし参照】
もも(果皮及び種子を含む。)	2	2	申		1.5 米国	【0.22～1.34(n=26)(米国)】
ネクタリン	2	2	申		1.5 米国	【米国もも参照】
あんず(アプリコットを含む。)	2	2			2 米国	【米国すもも参照】
すもも(ブルーベリーを含む。)	2	2			2 米国	【<0.01～0.98(n=20)(米国)】
うめ	2	2	申			0.324、0.558、0.765 (#)
おうとう(チェリーを含む。)	4	4	申		4 米国	【米国おうとう(0.45～1.08(n=8))、タルトチェリー(0.03～2.25(n=8))】
いちご	2		IT		2 米国	【<0.01～1.05(n=11)(米国)】
ラズベリー	3		IT		3 米国	【米国ブラックベリー参照】
ブラックベリー	3		IT		3 米国	【0.25～1.32(n=6)(米国)】
ブルーベリー	5		IT		5 米国	【0.06～3.16(n=9)(米国)】
クランベリー	5		IT		5 米国	【米国ブルーベリー参照】
ハuckleベリー	5		IT		5 米国	【米国ブルーベリー参照】
その他のベリー類果実	5	2	IT		5 米国	【米国ブルーベリー参照】
ぶどう	3	2	申			0.574,1.24(#)(大粒ぶどう) 0.802,1.5(#)(小粒ぶどう)
かき		2				
バナナ	2		IT		1.5 米国	【0.026～0.74(n=10)(#)(袋なし)(ブラジル、コロンビア、エクアドル)】
パッションフルーツ	2	2			1.5 米国	【米国ぶどう(0.11～1.07(n=26))】
その他の果実	2	2			1.5 米国	【米国ぶどう参照】

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準 値 ppm	
ひまわりの種子	0.2		IT		0.15 米国	【<0.01～0.062(n=10)(米国)】
ごまの種子	1	1			1 米国	【米国なたね参照】
べにばなの種子	0.2		IT		0.15 米国	【米国ひまわり参照】
綿実	0.2		IT		0.2 米国	【<0.01～0.12(n=12)(米国)】
なたね	1	1			1 米国	【<0.01～0.74(n=13)(米国)】
その他のオイルシード	1	1			1 米国	【米国なたね参照】
くり	0.06	0.06			0.06 米国	【米国ペカン(<0.01(n=10)),ピスタチオ(0.01～0.04(n=6)),アーモンド(<0.01～0.02(n=10))】
ペカン	0.06	0.06			0.06 米国	【米国ペカン、ピスタチオ、アーモンド参照】
アーモンド	0.06	0.06			0.06 米国	【米国ペカン、ピスタチオ、アーモンド参照】
くるみ	0.06	0.06			0.06 米国	【米国ペカン、ピスタチオ、アーモンド参照】
その他のナッツ類	0.06	0.06			0.06 米国	【米国ペカン、ピスタチオ、アーモンド参照】
コーヒー豆	0.4		IT		0.4 米国	【<0.01～0.330(＃)(n=19)(ブラジル、エクアドル、コロンビア)】
その他のスパイス	1	1			1 米国	【米国なたね参照】
その他のハーブ	30	1	IT		30 米国	【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】
牛の筋肉	0.2	0.03	IT		0.15 米国	【推:0.121(米国)】
豚の筋肉	0.01	0.01			0.01 米国	【推:0.006(米国)】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.2	0.03	IT		0.15 米国	【米国牛の筋肉参照】
牛の脂肪	1	0.2	IT		1 米国	【推:1.036(米国)】
豚の脂肪	0.02	0.02			0.015 米国	【推:0.012(米国)】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	1	0.2	IT		1 米国	【米国牛の脂肪参照】
牛の肝臓	2	0.3	IT		1.5 米国	【推:1.614(米国)】
豚の肝臓	0.03	0.03			0.03 米国	【推:0.019(米国)】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	2	0.3	IT		1.5 米国	【米国牛の肝臓参照】
牛の腎臓	2	0.3	IT		1.5 米国	【米国牛の肝臓参照】
豚の腎臓	0.03	0.03			0.03 米国	【米国豚の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	2	0.3	IT		1.5 米国	【米国牛の肝臓参照】
牛の食用部分	2	0.3	IT		1.5 米国	【米国牛の肝臓参照】
豚の食用部分	0.03	0.03			0.03 米国	【米国豚の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	2	0.3	IT		1.5 米国	【米国牛の肝臓参照】
乳	0.2	0.03	IT		0.15 米国	【推:0.074(米国)】
鶏の筋肉	0.02	0.01	IT		0.015 米国	【推:0.010(米国)】
その他の家さんの筋肉	0.02	0.01	IT		0.015 米国	【米国鶏の筋肉参照】
鶏の脂肪	0.02	0.02			0.015 米国	【推:0.010(米国)】
その他の家さんの脂肪	0.02	0.02			0.015 米国	【米国鶏の脂肪参照】
鶏の肝臓	0.02	0.01	IT		0.015 米国	【推:0.015(米国)】
その他の家さんの肝臓	0.02	0.01	IT		0.015 米国	【米国鶏の肝臓参照】
鶏の腎臓	0.02	0.01	IT		0.015 米国	【米国鶏の肝臓参照】
その他の家さんの腎臓	0.02	0.01	IT		0.015 米国	【米国鶏の肝臓参照】
鶏の食用部分	0.02	0.01	IT		0.015 米国	【米国鶏の肝臓参照】
その他の家さんの食用部分	0.02	0.01	IT		0.015 米国	【米国鶏の肝臓参照】
鶏の卵	0.01	0.01			0.01 米国	【推:0.010(米国)】
その他の家さんの卵	0.01	0.01			0.01 米国	【米国鶏の卵参照】
はちみつ	0.05	0.05				※

本基準（暫定基準以外の基準）を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

「登録有無」の欄に「IT」の記載があるものは、イボートレタス申請に基づく基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(＃)これらの作物残留試験は、登録又は申請の適用の範囲内で試験が行われていない。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留濃度であることを示している。

※)「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和元年7月30日農薬・動物用医薬品部会(令和3年3月11日 一部改訂))の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

メフェントリフルコナゾールの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
小麦	0.3	0.087	17.9	5.2	13.3	3.9	20.7	6.0	15.0	4.3
大麦	4	0.68	21.2	3.6	17.6	3.0	35.2	6.0	17.6	3.0
ライ麦	4	0.68	0.4	0.1	0.4	0.1	2.0	0.3	0.4	0.1
とうもろこし	0.03	0.01	0.1	0.0	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0
そば	4	0.68	4.4	0.7	2.0	0.3	7.2	1.2	4.4	0.7
その他の穀類	4	0.68	0.8	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1	1.2	0.2
大豆	0.4	0.03	15.6	1.2	8.2	0.6	12.5	0.9	18.4	1.4
小豆類	2	0.29	4.8	0.7	1.6	0.2	1.6	0.2	7.8	1.1
えんどう	0.2	0.016	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.2	0.016	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
らっかせい	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	0.2	0.016	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.04	0.012	1.5	0.5	1.4	0.4	1.7	0.5	1.4	0.4
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.04	0.012	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1
かんしょ	0.04	0.012	0.3	0.1	0.3	0.1	0.5	0.1	0.4	0.1
やまいも (長いもをいう。)	0.04	0.012	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1
その他のいも類	0.04	0.012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.6	0.12	19.5	3.9	16.6	3.3	24.7	4.9	19.9	4.0
さとうきび	2	0.41	196.4	40.3	167.2	34.3	248.2	50.9	200.4	41.1
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.7	0.11	23.1	3.6	8.0	1.3	14.4	2.3	32.0	5.0
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	20	4.91	34.0	8.3	12.0	2.9	62.0	15.2	56.0	13.7
かぶ類の根	0.7	0.11	2.0	0.3	0.6	0.1	0.1	0.0	3.5	0.6
かぶ類の葉	20	4.91	6.0	1.5	2.0	0.5	2.0	0.5	12.0	2.9
西洋わさび	0.7	0.11	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
クレソン	30	6.6	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7
その他のあぶらな科野菜	30	6.6	102.0	22.4	18.0	4.0	24.0	5.3	144.0	31.7
ごぼう	0.7	0.11	2.7	0.4	1.1	0.2	2.7	0.4	3.2	0.5
サルシフィー	0.7	0.11	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
チコリ	20	4.91	2.0	0.5	2.0	0.5	2.0	0.5	2.0	0.5
エンダイブ	30	6.6	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7
しゅんぎく	30	6.6	45.0	9.9	9.0	2.0	78.0	17.2	75.0	16.5
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	30	6.6	288.0	63.4	132.0	29.0	342.0	75.2	276.0	60.7
その他のきく科野菜	30	6.6	45.0	9.9	3.0	0.7	18.0	4.0	78.0	17.2
たまねぎ	0.2	0.054	6.2	1.7	4.5	1.2	7.1	1.9	5.6	1.5
ねぎ (リーキを含む。)	4	0.64	37.6	6.0	14.8	2.4	27.2	4.4	42.8	6.8
にんにく	0.2	0.054	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0
にら	4	0.64	8.0	1.3	3.6	0.6	7.2	1.2	8.4	1.3
わけぎ	4	0.64	0.8	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1	0.8	0.1
その他のゆり科野菜	4	0.64	2.4	0.4	0.4	0.1	0.8	0.1	4.8	0.8
にんじん	0.7	0.11	13.2	2.1	9.9	1.6	15.8	2.5	13.1	2.1
パースニップ	0.7	0.11	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
パセリ	30	6.6	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7	6.0	1.3
その他のせり科野菜	30	6.6	6.0	1.3	3.0	0.7	9.0	2.0	9.0	2.0
トマト	0.9	0.2	28.9	6.4	17.1	3.8	28.8	6.4	32.9	7.3
ピーマン	0.9	0.2	4.3	1.0	2.0	0.4	6.8	1.5	4.4	1.0
なす	0.9	0.2	10.8	2.4	1.9	0.4	9.0	2.0	15.4	3.4
その他のなす科野菜	0.9	0.2	1.0	0.2	0.1	0.0	1.1	0.2	1.1	0.2
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.2	0.041	4.1	0.8	1.9	0.4	2.8	0.6	5.1	1.0
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.2	0.041	1.9	0.4	0.7	0.2	1.6	0.3	2.6	0.5
しろうり	0.5	0.15	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.5	0.1
すいか (果皮を含む。)	0.5	0.15	3.8	1.1	2.8	0.8	7.2	2.2	5.7	1.7
メロン類果実 (果皮を含む。)	0.5	0.15	1.8	0.5	1.4	0.4	2.2	0.7	2.1	0.6
まくわうり (果皮を含む。)	0.5	0.15	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1
その他のうり科野菜	0.2	0.041	0.5	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.7	0.1
ほうれんそう	30	6.6	384.0	84.5	177.0	38.9	426.0	93.7	522.0	114.8
オクラ	0.9	0.2	1.3	0.3	1.0	0.2	1.3	0.3	1.5	0.3
しょうが	0.04	0.012	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
未成熟えんどう	0.2	0.016	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
未成熟いんげん	0.2	0.016	0.5	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1
えだまめ	0.2	0.016	0.3	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.5	0.0
その他の野菜	30	6.6	402.0	88.4	189.0	41.6	303.0	66.7	423.0	93.1
みかん (外果皮を含む。)	0.6	0.203	10.7	3.6	9.8	3.3	0.4	0.1	15.7	5.3
なつみかんの果実全体	0.5	0.14	0.7	0.2	0.4	0.1	2.4	0.7	1.1	0.3
レモン	1	0.32	0.5	0.2	0.1	0.0	0.2	0.1	0.6	0.2
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	0.6	0.203	4.2	1.4	8.8	3.0	7.5	2.5	2.5	0.9
グレープフルーツ	0.5	0.14	2.1	0.6	1.2	0.3	4.5	1.2	1.8	0.5
ライム	1	0.32	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他のかんきつ類果実	1	0.32	5.9	1.9	2.7	0.9	2.5	0.8	9.5	3.0
りんご	2	0.339	48.4	8.2	61.8	10.5	37.6	6.4	64.8	11.0
日本なし	2	0.339	12.8	2.2	6.8	1.2	18.2	3.1	15.6	2.6
西洋なし	2	0.339	1.2	0.2	0.4	0.1	0.2	0.0	1.0	0.2
マルメロ	2	0.339	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
びわ (果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	2	0.339	1.0	0.2	0.6	0.1	3.8	0.6	0.8	0.1
もも (果皮及び種子を含む。)	2	0.508	6.8	1.7	7.4	1.9	10.6	2.7	8.8	2.2
ネクタリン	2	0.508	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
あんず (アブリコットを含む。)	2	0.322	0.4	0.1	0.2	0.0	0.2	0.0	0.8	0.1
すもも (プルーンを含む。)	2	0.322	2.2	0.4	1.4	0.2	1.2	0.2	2.2	0.4
うめ	2	0.549	2.8	0.8	0.6	0.2	1.2	0.3	3.6	1.0
おうとう (チェリーを含む。)	4	1.046	1.6	0.4	2.8	0.7	0.4	0.1	1.2	0.3
いちご	2	0.346	10.8	1.9	15.6	2.7	10.4	1.8	11.8	2.0
ラズベリー	3	0.86	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
ブラックベリー	3	0.86	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
ブルーベリー	5	0.8	5.5	0.9	3.5	0.6	2.5	0.4	7.0	1.1
クランベリー	5	0.8	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1

メフェントリフルコナゾールの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
ハuckleベリー	5	0.8	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1
その他のベリー類果実	5	0.8	0.5	0.1	0.5	0.1	1.0	0.2	0.5	0.1
ぶどう	3	1.029	26.1	9.0	24.6	8.4	60.6	20.8	27.0	9.3
バナナ	2	0.3866	26.4	5.1	30.4	5.9	32.6	6.3	37.8	7.3
パッションフルーツ	2	0.49	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
その他の果実	2	0.49	2.4	0.6	0.8	0.2	1.8	0.4	3.4	0.8
ひまわりの種子	0.2	0.027	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ごまの種子	1	0.138	0.9	0.1	0.9	0.1	0.9	0.1	0.8	0.1
べにばなの種子	0.2	0.027	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
綿実	0.2	0.0525	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	1	0.138	5.9	0.8	3.7	0.5	5.4	0.7	4.6	0.6
その他のオイルシード	1	0.138	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
くり	0.06	0.012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.06	0.012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.06	0.012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.06	0.012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.06	0.012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
コーヒー豆	0.4	0.039	1.3	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	1.0	0.1
その他のスパイス	1	0.138	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
その他のハーブ	30	6.6	27.0	5.9	9.0	2.0	3.0	0.7	42.0	9.2
陸棲哺乳類の肉類	1	筋肉 0.09 脂肪 0.853	57.7	14.0	43.1	10.5	64.4	15.6	41.0	9.9
陸棲哺乳類の食用部分(肉類除く)	2	1.212	2.8	1.7	1.6	1.0	9.6	5.8	1.8	1.1
陸棲哺乳類の乳類	0.2	0.085	52.8	22.4	66.4	28.2	72.9	31.0	43.2	18.4
家さんの肉類	0.02	0.034	0.4	0.7	0.3	0.5	0.5	0.8	0.3	0.5
家さんの卵類	0.01	0.02	0.4	0.8	0.3	0.7	0.5	1.0	0.4	0.8
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
計			2087.6	464.8	1166.7	267.6	2127.0	485.8	2440.4	538.1
ADI比 (%)			108.2	24.1	202.0	46.3	103.9	23.7	124.3	27.4

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算法: 基準値案×各食品の平均摂取量

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値(案)の数値を用いた。

「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI計算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉及び脂肪の摂取量にその範囲の基準値案で最も高い値を乗じた。また、EDI計算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%及び20%として試算した。

(参考)

これまでの経緯

平成31年	3月	1日	インポートトレランス申請（小麦、大麦等）
令和元年	5月	22日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和2年	1月	14日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和2年	3月	24日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和2年	4月	3日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和2年	11月	16日	残留農薬基準告示
令和4年	4月	27日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（新規：ぶどう、りんご等）
令和4年	5月	24日	インポートトレランス申請（さとうきび、たまねぎ等）
令和4年	8月	24日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和4年	10月	26日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和5年	1月	27日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和5年	2月	10日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

◎ 穂山	浩	学校法人星薬科大学薬学部薬品分析化学研究室教授
井之上	浩一	学校法人立命館立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室教授
大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○ 折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部生理学教授
加藤	くみ子	学校法人北里研究所北里大学薬学部分析化学教室教授
神田	真軌	東京都健康安全研究センター食品化学部残留物質研究科主任研究員
魏	民	公立大学法人大阪大阪公立大学大学院医学研究科 環境リスク評価学准教授
佐藤	洋	国立大学法人岩手大学農学部共同獣医学科比較薬理毒性学研究室教授
佐野	元彦	国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵	雅之	学校法人東京農業大学応用生物科学部農芸化学科 生物有機化学研究室教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所栄養疫学・食育研究部長
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
中島	美紀	国立大学法人金沢大学ナノ生命科学研究所 薬物代謝安全性学研究室教授
根本	了	国立医薬品食品衛生研究所食品部主任研究官
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会信頼性保証室付技術顧問
二村	睦子	日本生活協同組合連合会常務理事

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

メフエントリフルコナゾール

今回残留基準値を設定する「メフエントリフルコナゾール」の規制対象は、メフエントリフルコナゾールのみとする。

食品名	残留基準値 ppm
小麦	0.3
大麦	4
ライ麦	4
とうもろこし	0.03
そば	4
その他の穀類 ^{注1)}	4
大豆	0.4
小豆類 ^{注2)}	2
えんどう	0.2
そら豆	0.2
らっかせい	0.01
その他の豆類 ^{注3)}	0.2
ばれいしょ	0.04
さといも類（やつがしらを含む。）	0.04
かんしょ	0.04
やまいも（長いものをいう。）	0.04
その他のいも類 ^{注4)}	0.04
てんさい	0.6
さとうきび	2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.7
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	20
かぶ類の根	0.7
かぶ類の葉	20
西洋わさび	0.7
クレソン	30
その他のあぶらな科野菜 ^{注5)}	30
ごぼう	0.7
サルシフィー	0.7
チコリ	20
エンダイブ	30
しゅんぎく	30
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	30
その他のきく科野菜 ^{注6)}	30
たまねぎ	0.2
ねぎ（リーキを含む。）	4
にんにく	0.2
にら	4
わけぎ	4
その他のゆり科野菜 ^{注7)}	4

食品名	残留基準値 ppm
にんじん	0.7
パースニップ	0.7
パセリ	30
その他のせり科野菜 ^{注8)}	30
トマト	0.9
ピーマン	0.9
なす	0.9
その他のなす科野菜 ^{注9)}	0.9
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.2
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.2
しろうり	0.5
すいか（果皮を含む。）	0.5
メロン類果実（果皮を含む。）	0.5
まくわうり（果皮を含む。）	0.5
その他のうり科野菜 ^{注10)}	0.2
ほうれんそう	30
オクラ	0.9
しょうが	0.04
未成熟えんどう	0.2
未成熟いんげん	0.2
えだまめ	0.2
その他の野菜 ^{注11)}	30
みかん（外果皮を含む。）	0.6
なつみかんの果実全体	0.5
レモン	1
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	0.6
グレープフルーツ	0.5
ライム	1
その他のかんきつ類果実 ^{注12)}	1
りんご	2
日本なし	2
西洋なし	2
マルメロ	2
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	2
もも（果皮及び種子を含む。）	2
ネクタリン	2
あんず（アプリコットを含む。）	2
すもも（プルーンを含む。）	2
うめ	2
おうとう（チェリーを含む。）	4
いちご	2
ラズベリー	3
ブラックベリー	3
ブルーベリー	5

食品名	残留基準値 ppm
クランベリー	5
ハックルベリー	5
その他のベリー類果実 ^{注13)}	5
ぶどう	3
バナナ	2
パッションフルーツ	2
その他の果実 ^{注14)}	2
ひまわりの種子	0.2
ごまの種子	1
べにばなの種子	0.2
綿実	0.2
なたね	1
その他のオイルシード ^{注15)}	1
くり	0.06
ペカン	0.06
アーモンド	0.06
くるみ	0.06
その他のナッツ類 ^{注16)}	0.06
コーヒー豆	0.4
その他のスパイス ^{注17)}	1
その他のハーブ ^{注18)}	30
牛の筋肉	0.2
豚の筋肉	0.01
その他の陸棲哺乳類 ^{注19)} に属する動物の筋肉	0.2
牛の脂肪	1
豚の脂肪	0.02
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	1
牛の肝臓	2
豚の肝臓	0.03
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	2
牛の腎臓	2
豚の腎臓	0.03
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	2
牛の食用部分 ^{注20)}	2
豚の食用部分	0.03
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	2
乳	0.2
鶏の筋肉	0.02
その他の家きん ^{注21)} の筋肉	0.02
鶏の脂肪	0.02

食品名	残留基準値 ppm
その他の家さんの脂肪	0.02
鶏の肝臓	0.02
その他の家さんの肝臓	0.02
鶏の腎臓	0.02
その他の家さんの腎臓	0.02
鶏の食用部分	0.02
その他の家さんの食用部分	0.02
鶏の卵	0.01
その他の家さんの卵	0.01
はちみつ	0.05

注1) 「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3) 「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4) 「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）及びこんにゃくいも以外のものをいう。

注5) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注6) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注7) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注8) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注10) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注11) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注12) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注13) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注14) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注15) 「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。

注16) 「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注17) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注18) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注19) 「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注20) 「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注21) 「その他の家さん」とは、家さんのうち、鶏以外のものをいう。